

地方史情報

099
2010年9月

中世の神社と祭り

水谷 類

本書には、筆者がこれまでに発表した中世の神社と祭りに関する論文を収めた。

長らく私の研究の関心は、神社と祭りに注がれてきた。それは卒業論文に愛知県豊田市の猿投神社を選択して以来のことである。近年、廟墓と人神祭祀に目を向け、博士論文でも「廟墓ラントウと墓前祭祀の研究－中近世移行期の墓制と先祖祭祀－」を提出したが（『廟墓ラントウと現世浄土の思想』『墓前祭祀と聖所のトポロジー』として公刊）、これも基本的には神社研究、祭り研究の延長線上にある。

神社研究と祭り・儀礼研究は、多くの場合、それぞれ別の研究者によって行われている。そのことは、かつて今も、ほとんど変わっていない。神社研究のなかでも、伊勢神宮や加茂社など、個別神社に関する研究はそうとばかりはいえないかもしれないが、歴史学研究としての神社研究は、長い間、制度史あるいは政治体制論の範疇で論じられていた。かく言う私も、一九八〇年代には荘園公領制論、権門体制論という安全柵の内側で、神社と祭りを論じていた一人であった。（中略）

祭りを文献資料のみで描き出すことは、ほとんど不可能に近い。神社の歴史的な実態を明らかにしようとすればするほど、私たちは祭りに目を向けなければならないと痛感し、新しい素材で道を切り拓こうと模索する。しかしいつも、文献資料の厚い壁にはねかえされてしまうのが現実だ。そもそも祭りなどの精神生活に属する人間の活動は、文字・記録に馴染まないものなのだろう。そう思いはじめてから、しばらくの時が経っている。

祭りは「伝承」世界に根差している。文献資料は「伝承の海」に漂う数葉の枯れ葉でしかない。恩師である萩原龍夫先生が説いていたとおり、「史料と伝承の両輪」に頼らなくては、祭りも神社も姿を現わしてくれない。そのためには「伝承」世界、「伝承」資料をどこまで活用できるか、その方法の確立が鍵を握っているに違いない。

本論集は私自身がかつて、文献から神社と祭りに迫ろうと試みた証しとして、または、文献史的な仕事によって迫り得たささやかな成果を、私自身の目印として残しておくためのものである。

（水谷著『中世の神社と祭り』、2010.8、小社刊、「序にかえて」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5 ハ
ウスオブ恵庭105 渡辺隆方 TEL0123-34-
2130 / 〒062-0007札幌市豊平区美園七条
1丁目3-1-507 高木崇世芝方 TEL011-821-
2831 年5000円

◇38 2010.2 B5 10p

永田地名解の謎解き 渡辺 隆
津軽平野に見られる蝦夷系由来の

不思議な地名 齋藤 和範
佐藤淳子訳編『現代語訳 松浦武
四郎 佐渡日記』（新潟日報
平成22年1月10日付）

アイヌ語地名研究書2冊が寄贈さ
れる／図書・会誌・会報・論文
などの紹介

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇318 2010.3 B4 4p

フライデルベルグ会議参加印象記

山田 大隆

「函館華僑が残したもの」

—函館の中の中国 小川 正樹
書簡集から見た宮部金吾博士

—ある植物学者の生涯 秋月 俊幸
産業遺産 函館市の産業遺産(2)

漁業関連機械工業遺産の調査と
保存 富岡由夫／山田大隆

全道に地域通信員を配置

博物館物語(8) 名寄市「名寄市
北国博物館」北国の魅力発見
の博物館 鈴木 邦輝

各団体の活動(8) 余市町におけ
る団体の活動について 駒木根恵蔵

地域の団体活動
栗山の歴史を学ぶ会 横田 直成
魂の活動たくましく

田んぼ de ミュージカル委員会

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111

◇82 2010.3 A5 62p

巻頭言 文化財の費用対効果 ト部 信臣
樺太の教育者 上田光曦の生涯 鈴木 仁
高野山奥之院の松前家墓所 青木 伸剛
戦前・戦中の風景

北海道の奉安殿 山田 雅也
江別のレンガについて 新川 寛
シストーダより 河野のり子



◆北海道れきけん 北海道歴史研究会

〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方 TEL011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/

◇72 2010.2 B5 8p

新年のごあいさつ 田中 貢
杉浦武四郎はなぜ「佐渡」で短歌

を一首も詠まなかったのか? 今野 淳子
随筆 アシベツ 地蔵 慶護

平成21年度日帰り探訪「ポロトコ
タン」

随筆 エニワ 地蔵 慶護

◆北方民族博物館だより

〒093-0042北海道網走市潮見309-1

TEL0152-45-3888 hoppohm.org

◇76 2010.3 A4 6p

企画展「カナダの民話をみる 極
北のイヌイト・アートを中心に」

斎藤 玲子
企画展関連講習会 版画で伝える

メッセージ 講師・田主誠氏 斎藤 玲子
北海道博物館紀行 美幌博物館

講師・尾崎絵美氏 角 達之助
企画展「カムチャツカ先住民調査

の10年」 渡部 裕
2009年度調査報告「サハ共和国・

トンボ地区におけるエベンのト
ナカイ牧畜について」 中田 篤

◆うそり 下北の歴史と文化を語る会

〒035-0076青森県むつ市旭町13-48

相馬方 TEL0175-24-3262 年2000円

1965年創刊

◇46 2010.3 A5 211p 1500円

藩政時代に現在のむつ・下北地区
を治めた為政者末裔の動向 葛西 富夫

北前船の足跡—脇野沢村佐渡屋川

岸家文書からの視座(2) 鉄吹

き関連事業 高松 敬吉

旧大湊水源地道施設

国重要文化財指定に携わって 飛内 進
昭和北歳時記(5) 小川 洋一

霊山釜臥山とお山掛と旧道調査
2009(4) 前田 哲男

大湊海軍スキー史補遺 大正15年
全日本大会不参加の理由 長内 誠一

おかしき滝と旧木野部峠街道
—菅江真澄の足跡をたどって 瀬川 威

鶴ヶ崎順法寺域に関する考察(2) 新松 文明
興良親王北部王説に基づく北部王

家興亡説 澁谷 聰志

◆東奥文化 青森県文化財保護協会

〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7

青森県立図書館内 年3000円 1955年創刊
◇81 2010.3 A5 90p

平成21年度青森県文化財保護行政
について 青森県教育委員会

大衆文化の黄金期

—八戸の劇場三座について 滝尻 善英
根城南部家の官途について 滝尻 佑貴

青森県の江戸期数学、及び算額に
ついて 吉岡 政和

文化5年・弘前藩10万石高直しに

まつわる4体の御木像(江戸家

老・笠原八郎兵衛皆富の御木像
から考察…) 工藤 哲彦

「尾鯨の牧」と奥地の俘囚・安倍

富忠とのつながりについての一

考察 相内 知昭

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会

〒033-0034三沢市東町1-10-12 米田清蔵方

TEL0176-53-3525 2005年創刊

◇6 2010.3 B5 162p 1000円

口絵 三沢に残る巡見使道路
 発刊にあたって 米田 清蔵
 特別寄稿 中野トク小伝(5) 小菅麻起子
 三沢市行政史文書「淋代牧場日録」
 及川光男／古文書を読む会
 天津記 新堂 一郎
 むかし話(3)(富田トミノ作) 伊野 アイ
 三沢の礎 平出英夫将軍の無念さ
 を想う 米田 清蔵
 想い出の記(3)
 「月館八郎海軍始末記」 馬場 操
 私見・浜三沢と旧斗南藩士のこと
 小比類巻みつる
 特集 佛心—わが寺のことども
 「佛様の教え」に参じて 興雲寺
 大関 勝春
 「平安寺の歴史」雑感 平安寺 葛西 満水
 せいりゅう 玉泉寺 赤沼 宗司
 特集 三沢の方言 名詞・名称の
 部(2) 馬場操／地名方言研究会
 三沢のむかし話 小比類巻みつる
 「ナニヤドヤラ」考 傳法 穎司
 三沢の事件・事故・災害 米田 清蔵
 コラム 市川日記と三沢／南部三
 郎光行／「つれづれ日記」より
 ／甲子園球場に三沢旋風起こる
 ／小鳥捕り／代かきと田植え
 会報(第51号～第60号)

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
 ◇236 2010.3 B5 8p
 文化の多様性 大月 光康
 伝統文化で心豊かな人に 八重樫 勝
 「伝統の里・岩手」の保存を 吉田 英男
 博物館は、どこへ行く？ 瀬川 司男
 郷土芸能保存協の活動 永嶺 正治

前平泉期の歴史と江刺
 —餅田地区の人々の活動 千葉 俊一
 郷土芸能励ます無名の手紙 平山 徹
 盛岡「多賀神楽」のDVDの製作
 成る／21年度郷土学習会 全
 日程終わる

◆ホツマ ホツマ研究会
 〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通3-35-201
 TEL019-653-5554 年3000円
 ◇63 2010.1 A5 6p
 箴言録 清藤 直樹
 古事記の大嘘(4) 小川蒼秀／鎬邦男
 例会活動報告
 「ホツマ研究会」の一コマ 小野寺白龍

◆道鏡を守る会通信
 〒989-6156大崎市古川西館3-4-35
 本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円
 ◇84 2010.2 B5 10p
 弓削島・岡山探訪、東京講演会の成功を
 孝謙・称徳天皇の事績の検討 本田 義幾
 道鏡情報／ご案内
 事務局こぼれ話(承前)
 自分史の一端 高久重三郎
 「北とぴあ講演会」とは感無量です
 松本 守博
 会誌29号の保良宮の記事を読んで
 森本 弘之

◆東北文化研究室紀要
 東北大学文学部東北文化研究室
 〒980-0862仙台市青葉区川内 1959年創刊
 ◇51 2010.3 B5 144p
 沖縄の島嶼部における地域ケア・
 システム構築の現状と課題 永井 彰
 奉納のエコノミー—(死者の結婚)
 をプロモートするもの 小田島建己

戦没者追悼の現在—宮城県塩竈市
 浦戸桂島地区の場合 小林 輝之
 〈東北文化シンポジウム
 死を見つめる心—現代東北の葬送文化〉
 開会の挨拶 花登 正宏
 研究発表
 現代日本の葬送事情 碑文谷 創
 考古学から見た東北地方の葬送
 文化 田中 則和
 「死」をめぐる言葉
 —方言学の立場から 澤村 美幸
 葬儀社アンケートから見た東北
 地方の葬送文化 鈴木 岩弓
 いますがごとの葬送—秋田県
 男鹿市のある酒造旧家の葬儀
 を通して 山田 慎也
 東北地方のあいさつ表現の分布形
 成過程—朝の出会い時の表現を
 中心にして 中西 太郎
 民間巫者の死後における「祭壇」
 の継承—青森県八戸市の事例か
 ら 大道 晴香

◆ナジェージダ(希望)
 石巻若宮丸漂流民の会
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 TEL045-773-4643
 homepage2.nifty.com/deracine/
 ◇23 2010.1 A4 36p
 シンポジウム「東北日本とロシア
 —その過去と現在」
 シンポジウムとその3日間 今村 享嗣
 大島幹雄講演「レザーノフの辞
 書を読む」
 泉川渉『津太夫たちの長い夢』
 『津太夫たちの長い夢』誕生秘話 泉川 渉
 『津太夫たちの長い夢』を読んで

綿 晋
 特集 日本の漂流民研究のいま(2)
 特別寄稿 開国曙光の人 大黒
 屋光太夫 都築 正則
 特別寄稿 下北半島と若宮丸 松井 哲朗
 ベーリングを探して
 —濃霧の牡鹿半島 高橋 寿之
 漂流に見る点と線(2) 佐藤三壽夫
 「海よりも風よりも」公演レポート
 綿 晋

◆秋田県公文書館研究紀要
 〒010-0952秋田市山王新町14-31
 TEL018-866-8301 1995年創刊
 www.pref.akita.jp/koubunsyoo/
 ◇16 2010.3 B5 98p
 秋田藩天保国絵図の作成過程とそ
 の特質 加藤 昌宏
 秋田県における郡役所の文書管理
 制度の再検討—「郡区町村編成
 法」下について 柴田 知彰
 市町村における公文書館機能の設
 置と課題 煙山 英俊
 「秋田県庁旧蔵古文書」について 佐藤 隆
 史料紹介 「寛政七卯年より同十
 一巳年迄 御用留書」—寛政
 七年の郡奉行設置 金森 正也

◆秋田県公文書館だより
 〒010-0952秋田市山王新町14-31
 TEL018-866-8301 1995年創刊
 www.pref.akita.jp/koubunsyoo/
 ◇25 2010.3 A4 8p
 久保田城下のかまくら行事
 資料紹介
 船川築港関係資料 煙山 英俊
 「秋田県庁旧蔵古文書」について 佐藤 隆

平成21年度秋田県公文書企画展
「公文書館資料で見る近現代秋
田の交通」／「県の記念日」事業
「県政映画」上映会 懐かしき
昭和30年代の秋田
平成21年度第2回公文書館懇話会
／平成21年度公文書館講座／市
町村公文書・歴史資料保存利用
推進連絡会議／公文書の引渡
し・公開状況／愛知覧質からの
お知らせ／寄贈資料
刊行物の紹介 『宇都宮孟綱日記』
第五巻について

◆北方風土 北方風土社
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
◇59 2010.1 A5 147p 2000円
昭和前期秋田県の地域史研究—高
橋幸一氏の歴史研究にもふれて
田口勝一郎
雪にまつわる民俗語彙(2) 稲 雄次
島海山大物忌神の研究覚
—国史上の大物忌神 神宮 滋
東北縦断・秋田高速道添いの遺跡
群について 高橋 暁樹
年中行事の本義の解明—農村の一
つ目小僧 大師講・大黒様の年
取・戸窓塞ぎ・コト八日 松橋 由雄
民俗行事・民族語 松橋 由雄
金鶏伝説と金鶏山 佐藤 松雄
方言詩の世界 佐藤 貢
律令と奈良時代の外従五位下 深田新一郎
一揆風聞録「南部騒立一件」等 武田 功
史料編 本堂氏戦記

◆季刊東北学
東北芸術工科大学東北文化研究センター

(発売：柏書房) 〒990-9530山形県山形市
上桜田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇22 2010.2 A5 251p 2000円
《特集 モノの考古学からコトの考古学へ》
対談 考古学と民俗学の協働にむ
けて—理論考古学が目指すもの
安斎正人／赤坂憲雄
回廊の古民族史
—千葉県池花遺跡の人びと 田村 隆
縄文土器研究の現状と魅力 山本 典幸
弥生時代の考古学再考
—モノ・個人・認知 中園 聡
古墳がしめすコトの考古学
—環境・認知・文化伝達 松木 武彦
蝦夷は古代日本領域からの移住者
か 松本 建速
古代・中世の境界領域と琉球考古
学 高梨 修
購入・廃棄の判断、行為と情報—
江戸遺跡出土陶磁器に照射して
堀内 秀樹
統一〈場—もの〉論序説 五十嵐 彰
東北民衆史の水脈(4) マタギと
東北の山—登山家葛西森夫の生
涯(1) 色川 大吉
民俗学の眼(6) 柴小屋と田小屋
—景物からの民俗遡及(2) 野本 寛一
済州島の民俗(22) 稗と栗の混作
について—生業民俗論(15) 高 光敏
東シナ海の高層(2) ヤギの耳切
り—〈平島放送記録〉を読む(2)
稲垣 尚友
アジアの風のなかで(2)
異国に生きる 木村 文
あの頃のこと(2) 女友達 金 利恵
モノから見る韓国(7) チゲ 李 恵燕
絵はがきに見る東北日本・アジア

(7) 日本海の小型和船 東北文化センター
科学哲学へ(時評) 田口 洋美
文献史学の立場から手堅く描写
(書評) 菊地 和博
〈病〉と〈人情〉の重層的歴史像
(書評) 竹原 万雄
連載・写真曼荼羅(5)
羽黒山の秋峰修行 内藤 正敏

◆東北芸術工科大学東北文化研究センター
研究紀要
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 2002年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇9 2010.3 A4 69+71p
円筒下層式土器期の構造変動 安斎 正人
近世猟師の越境と熊の奪い合い
—「弘前藩庁御国日記」から 村上 一馬
明治前期における衛生政策と地域
情報の収集 竹原 万雄
「花笠踊り」の歴史民俗と集団踊
りの中の位置 菊地 和博
古文書からみる韓国の村落におけ
る葬式組について—鳥島倉里の
事例 李 恵 燕
押出遺跡のクッキー状炭化物と大
木式土器の年代 國木田大／吉田邦夫
辻誠一郎／福田正宏
飛島における林野利用と自然環境
—燃料採集を中心に 今石みぎわ

◆真澄学
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形県山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 2004年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇5 2010.2 A5 199p 2100円
菅江真澄の流儀 入間田宣夫

仙台藩の狩猟と地方知行制—鉄砲
持主「山立猟師」の性格をめぐ
って 鯨井千佐登
菅江真澄のみた農村女性たち 長島 淳子
アイヌ文化をフィールドワークす
る菅江真澄—特に機織りとクマ
送りについて 池田 貴夫
姥捨の月と真澄
—「田毎」の景観の成立 浅倉 有子
岩木山と花若殿・安寿姫の物語
(続) 入間田宣夫
注釈『つがろのおく(第一部)』
現代語訳 細川 純子
注 釈 川合正裕／井筒桃子／西脇千瀬
注釈ノート 北限の椿について
西脇 千瀬
菅江真澄の人生 真澄と菅原道真
細川 純子
菅江真澄から近代史をさぐる(5)
桜の生活文化史—北国の桜 菊池 勇夫

◆まんだら 東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇42 2010.2 B5 56p
特集 東北を読みとく 東北ルネ
サンス・プロジェクト in 仙台
赤坂憲雄対談「東北・知の系譜」
太宰治を語る
佐伯一麦／小池光／赤坂憲雄
東北文化研究センター 10周年記
念シンポジウム 東北文藝復
興 東北文化研究センターの
第2ステージに向けて
基調講演 東北文学は可能か 三浦 雅士
シンポジウム東北と文学

柚月裕子／深町秋生／田口
 洋美／岩井天志／赤坂憲雄
 公開講座 骨寺村に日本の原風景
 をさぐる 小岩弘明／入間田宣夫
 ／竹原万雄／菊池勇夫
 特別寄稿 犬の宮伝説と秦氏—東
 北南部の開拓(上) 清野 春樹
 東北ルネサンス・プロジェクト
 in 仙台 小説家・ライター講
 座レポート
 池上冬樹の東北文学雑感(2) 戦
 争、そして歌人の恋 北重人と
 原阿佐緒 池上 冬樹
 学生たちのフィールドレポート
 (4) 身近にある田園風景 道山 華子
 地域へ—新しい波を訪ねる(2)
 クロマツ林の思いに繋がって
 山形県遊佐町のこと 森 繁哉
 考古学者が映画を観ると(2)
 日米の考古学者を比較する 安斎 正人
 特派員レポート(2)
 一条ふみ文集『生き残り運動』
 復刻に際して 黒田 大介
 最上・鮭川村の伝統漁 鮎止め
 漁の漁師たち 腰高 直樹
 会員の声(1) 雛節句
 子に引き継ぐ雛人形 鈴木 直美
 雛流しの復活 川合 正裕
 NEWS 野添憲治『知られざる東
 北の技』刊行
 地域誌だより(15)
 今回も年末ぎりぎりに発行『津
 軽学』5号は年始書店店頭 杉山 陸子
 赤坂憲雄『増補版 遠野／物語
 考』刊行 滝沢真喜子
 森繁哉〈おくのほそ道〉撮影同
 行記 小池 浩一
 山野の精を葉とする 菅家 博昭

◆山形県地域史研究
 山形県地域史研究協議会
 〒990-0041山形市緑町1-9-30
 山形県文化環境部学術振興課分室内
 TEL023-627-7786 年2000円
 ◇35 2010.2 A5 136p 1000円
 最上氏領国と城郭 伊藤 清郎
 ジジババ石とは何か 清野 春樹
 中山城跡家中屋敷出土遺物 楨 綾
 大物忌神社神宮寺の創建 神宮 滋
 滝の山廃寺跡と浄土庭園 茨木 光裕
 名刺に見る幕末藩士たちの交流 岩井 哲
 浄財の普請、美の普請 鎌上 宏
 近世農業水利施設の維持管理に見
 る藩と村 佐藤 章夫
 出羽ヶ嶽文治郎の生涯について 齋藤 繁衛
 地名伝説第五巻を発売して 新関 昭男
 東根市史編さんを終えて 梅津 保一
 上山市土矢倉古墳群と六世紀の山
 形盆地 川崎 利夫
◆奥会津博物館研究紀要
 〒967-0014南会津郡南会津町糸沢西沢山
 3692-20 TEL0241-66-3077 2010年創刊
 ◇1 2010.3 A4 18p
 南会津町荒海地区町有林の森林植
 生と土地利用履歴
 鈴木和次郎／菊地賢／渡部康人
 南会津町の淡水魚類 稲葉 修
 南山御蔵入騒動新史料について 渡部 力夫
◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会
 〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3
 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306
 1965年創刊
 ◇40 2010.3 A5 94p
 天保九年守山領江戸屋敷奉公人の
 音羽町騒動一件について 大河 峯夫

服属の作法—大内定綱・片平親綱
 兄弟の事例 垣内 和孝
 安子島(亀井館)ノート 広長 秀典
 郡山地方石仏点描 小林 剛三
 西向山の共有林 佐藤 兵一
 平成21年度「史跡巡り報告」 高橋 康彦
 初めて、史跡巡りに参加して 渡部 芳雄
 平成21年度郡山市教育功労賞授与
 報告
◆相馬郷土 相馬郷土研究会
 〒976-8601福島県相馬市中村字大手先13
 相馬市歴史民俗資料館内 TEL0244-37-2191
 年3000円 1982年創刊
 www.geocities.jp/somakyodoken/
 ◇25 2010.3 B5 80p
 相馬史に名を残す書家
 佐々木玄龍 田原口保貞
 幼き日の思い出(3) 渡部 行
 相馬中村藩から派遣された冥加人
 足について 国枝 良次
 もう一つの相馬氏
 —相馬治胤と相馬義胤 岩本 由輝
 城と俳句 新妻 郁男
 剣豪千葉周作の出自は相馬中村藩
 山田 實
 番医格山田玄端の任務と医業(2) 田中 照禾
 献詠歌
 石原敬彦先生を偲んで 大迫 徳行
 松本ミヨ先生を偲んで 大迫 徳行
 松本ミヨ先生の逝去を悼む 西 徹雄
◆福島県郷土資料情報
 福島県立図書館調査課
 〒960-8003福島市森合字西養山1
 TEL024-535-3218 1986年創刊
 www.library.fks.ed.jp
 ◇50 2010.3 A4 26p

福島県立図書館所蔵 貴重郷土資
 料探照(14) 「福島県監獄署写
 真」 河野 まきこ
 福島の児童文学者(35)
 佐藤久子(1918～2007) 大崎真希子
 福島県関係書誌の紹介・2009 鈴木 知基
 プランゲ文庫新聞コレクション
 —福島県分(3) 出口 涼子
◆福島県史料情報 (財)福島県文化振興事業団
 〒960-8116福島市春日町5-54 TEL024-534-
 9193 www.history-archives.fks.ed.jp
 ◇26 2010.2 A4 4p
 『山崎村絵図』(「国見町山崎区有
 文書321」) 小暮 伸之
 慶長五年「白河決戦」論の虚実 本間 宏
 檜枝岐村絵図について(3) 山内 幹夫
 明治時代の地理教科書 小暮 伸之
 「害ナス」鳥獣 今野 徹
 招聘された柳田國男 渡邊 智裕
 歴史資料館の一年 本間 宏
◆南相馬市博物館研究紀要
 〒975-0051福島県南相馬市原町区牛来字出
 口194 TEL0244-23-6421 1997年創刊
 ◇12 2010.3 A4 112p
 寄稿 相馬義胤の文書と花押再考
 岡田 清一
 新聞資料に見る近代の野馬追(3)
 明治35年(1902)～37年(1904)の
 新聞から 二上 文彦
 「馬」に関する編年史料(1) 佐藤 祐子
 資料紹介
 伯耆渡部家所蔵資料について 佐藤 友之
 東ヶ丘公園と周辺地域の脊椎動物
 稲葉 修

関 東

◆茨城県史研究 茨城県立歴史館

〒310-0034茨城県水戸市緑町2-1-15

TEL029-225-4425 1965年創刊

www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp

◇94 2010.3 A5 90p

姉小路と徳川斉昭

内願の構図について 畑 尚子

幕末の情報活動と水戸「鎮派」ネ

ットワーク—鈴木大を中心に 奈良 勝司

茨城県における日本美術院の受容

清水恵美子

研究ノート 三村山極楽寺跡出土

瓦の諸問題—茨城県立歴史館所

蔵資料の紹介と検討 比毛 君男

歴史随想 井伊大老襲撃計画と薩

摩藩誠忠組 佐々木 克

書評 『茨城県立歴史館史料叢書

11 鹿島神宮文書Ⅰ』『茨城県

立歴史館史料叢書12 鹿島神宮

文書Ⅱ』 糸賀 茂男

県史関係文献目録(33)

◆茨城県立歴史館報

〒310-0034茨城県水戸市緑町2-1-15

TEL029-225-4425

www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp

◇37 2010.3 B5 102p

腕の製作技法と顔の作風から見た

茨城の人物埴輪 黒澤 彰哉

御三家の参勤交代

—水戸家「定府」の検討 永井 博

近世後期における一橋領知の農村

復興—下総国結城郡矢畑村の事

例 柳橋 正雄

市町村の歴史資料保存利用に關す

る支援事業—茨城県立歴史館の

取組み 富田 任

平成21年度地域共同史料調査概要

歴史資料課・行政資料課

◆茨城大学中世史研究

茨城大学中世史研究会

〒310-8512茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学人文学部 高橋修研究室

TEL029-228-8120 2004年創刊

◇7 2010.3 B5 34p

常陸大宮市の山城跡 調査概報(3)

長倉城跡とその周辺—地籍図か

らよみがえる中世城郭 額賀 大輔

山方城跡とその周辺—常陸北部

の境目の城 高橋 裕文

第5回地域史シンポジウム「よみ

がえる 戦国の城」等の開催に

ついて 牡丹 健一

北関東中世史情報／古代・中世史

関係の提出論文

常陸大宮市域の中世銘文史料

—棟札を中心に 梅田 由子

付図 長倉城跡とその周辺 現況

調査図／地籍図にみる長倉城跡

◆泉 石 古河歴史博物館紀要

〒306-0033茨城県古河市中央町3-10-56

TEL0280-22-5211

www.city.koga.ibaraki.jp/rekihaku/

◇9 2010.3 B5 81+15p

土井家京都邸の構成とその変遷 藤川 昌樹

谷中村総代／瀦水池設置事務員と

しての宮内喜平の活動—「宮内

喜八郎家資料」の紹介 久野 俊彦

堀秀成の妻と子—付・翻刻 堀秀

成『かゝみいは記行』(古河歴

史博物館蔵) 錦 仁

加茂常堅と利根川・渡良瀬川改修

松浦 茂樹

◆歴史地理学野外研究

筑波大学人文社会科学部研究科 歴史・人類

学専攻歴史地理学教室

〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL029-853-4493

◇14 2010.3 B5 196p

東京湾要塞地帯における第二・第

三海堡の建設と住民の対応—横

須賀・永嶋家にみる富津漁民と

の関わり 花木宏直／山邊菜穂子

軍港都市横須賀における遊興地の

形成と地元有力者の動向 加藤 晴美

軍港都市横須賀における商工業の

展開と「御用商人」の活動—横

須賀下町地区を中心として 双木 俊介

農業からみる近代浦賀町の特質

吉村雅美／岩本和恵

横須賀市長井地区における沿岸集

落の地域特性とその変遷—とく

に商業と漁業の動向に注目して

清水克志／武田周圀一郎／金谷千亜紀

近代三浦半島における生業形態か

らみた地曳網漁の様相—下浦地

域を事例として

田村真実／吉田国光／市川康夫

米と魚からみる港町の食生活—芸

予諸島大崎町御手洗における行

商人と米穀商について 渡部 圭一

山梨県丹波山村旧役場文書の学術

的意義に関する検討序説

小口千明／武田周一郎／

花木宏直／田場川あゆみ

◆文書館だより 栃木県立文書館

〒320-0027栃木県宇都宮市塙田1-1-20

TEL028-623-3450

www.pref.tochigi.jp/soumu/link/monjokan/

◇47 2010.3 A4 8p

宇都宮国綱書状 月井 剛

栃木の近代銀行

—ことはじめの一つとして 池田 真規

戦国史シンポジウム・特別展「下

野の戦国時代」を終えて 松本 一夫

収蔵文書紹介(46)

(榊屏風岩(渡辺久子家)文書 仲田 凱男

文書で読む栃木の歴史

近代草創期の小学校開設 直井 康幸

「戦国史シンポジウム」／企画展

「栃木の人車鉄道」／「地域史講

座」 山本 訓志

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8

小池照一方 TEL027-251-7660

◇73 2010.3 B5 6p

「上毛・下毛」始末記

澤口 宏

平成21年度事業報告

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1

TEL027-223-2785 年4500円

◇213 2010.3 A5 64p

《特集 富岡市(旧富岡市・妙義町)》

富岡市の歴史・文化財探訪コース

富岡市観光協会

富岡市の歴史概要

井野 修二

富岡市の文化財

富岡市教育委員会

富岡市名誉市民

富岡市

富岡製糸場ゆかりの人々

富岡市

『富岡市の文化財』の紹介と販売

について 富岡市教育委員会

小淵しちものがたり(3)

小淵しちの生涯(2)

古屋 祥子

『上野人物志』所載の堀口藍園の

書について 平澤 文夫
絵手紙で歩く 上毛かるた(36) 小林 生子
れきさんサロン 永田勝治／加藤鶴男
／平田経子／山崎正
柱野前川紀事之碑一考(2) 石山 幸宏
日帰り温泉ぶらり旅(14)
金島温泉「富貴の湯」の巻 田口 正美
榛名峠城は権現山城ではない 赤見 初夫

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
◇31 2010.3 A5 112p
鎌倉期里見一族の動向と平賀一族
須藤 聡
群馬の酒饅頭—ス饅頭・焼き饅頭
をめぐる一考察 横田 雅博
近代出産文化史における男性産婆
板橋 春夫
農間余業と船稼ぎ
—倉賀野河岸を中心に 和田 健一
「心の性別」と「自分らしさ」—性
同一性障害をめぐる民俗学的試
論 時枝 務
書 評
宮崎俊弥著『群馬県農業史』
(上・下) 藤井 茂樹
板橋春夫著『叢書いのちの民俗
学2 長寿 団子・赤飯・長
寿銭／あやかりの習俗』 大里 正樹
関口功一著『東国の古代氏族』 時枝 務

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
◇121 2010.3 B5 4p
篤農家の生涯 和田 健一
榛名山杜家町の水組 飯島 康夫

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円
www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
◇133 2010.3 A5 80p 2100円
巻頭随想 知っていること伝えよ
う、石の来歴・石のこころを 坂口 和子
《特集 日本の巡礼》
日本の巡礼(第31回石仏公開講座
より) 真野 俊和
出羽山形の廻国供養塔—出羽路を
歩いた六十六部と民俗 市村 幸夫
写し霊場の標石の行方 村上 昭彦
名号塔の知識(1) 岡村 庄造
「石」を知る(23) 小松 光衛
石燈籠入門(43) 嘉津山 清
石仏写真と私(23) 杉本 康希
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
宇野瑛司／角田尚士
はがき通信 井戸寛／遠藤康子
会員の広場 新井るい子／加藤和徳
／内山孝男／清水亨桐

石仏交流
第84回石部説見学会報告
埼玉県滑川町の石仏 野口 進
海外石仏研修報告 インド中部・
カジュラホ・サンチー・ウダイ
ギリを巡る旅 長島誠／西田栄一
石仏談話室／第34回総会報告

◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵
野学院大学国際コミュニケーション学部
神野潔研究室 TEL04-2954-6131 2008年創
刊 www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇新春特別号 2010.1 A5 16p
日本史史料研究会の刊行物紹介／

日本史史料研究会会報『ぶい&
ぶい』(無為無為)総目録
日本史史料研究会刊行物を引用し
た研究の紹介
書評 細川重男著『鎌倉北条氏の
神話と歴史—権威と権力—』 久保木圭一
秋葉信仰の地域的展開の批評によ
せて 西海 賢二
◇12 2010.3 A5 20p
実朝の抱瘡 関口 崇史
平安時代の写本一切経の構成と
『貞元新定釈教目録』 生駒 哲郎
書籍紹介 井原今朝男・牛山佳幸
編『論集 東国信濃の古代中世
史』(岩田書院・2008年7月) 久保木圭一
コラム さだたか 細川 重男

◆富士山遺文拾遺 まるはとだより発行所
〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
岡田博方 TEL048-281-4118
◇47 2010.2 B5 8p
古今東西宝語(47)
富める貧者の国
大島有隣先生御説経開扉(44)
『道歌集』文政元年盛夏六月(3) 岡田 博
有縁機縁録 新刊紹介 神谷安久
子歌集 鳩ヶ谷市民短歌会叢書
20集『浅のシャッター』／平成
21年度収支報告
◇48 2010.3 B5 8p
古今東西宝語(48) 迷走する日本
資本主義—失業率上昇で問われ
る経済政策の座標軸
大島有隣先生御説経開扉(45)
『道歌集』文政元年盛夏六月(4) 岡田 博
有縁機縁録 新刊紹介 宮家準著
『修験道—その歴史と修験—』
／山田昭全著『文覚』

◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円
◇29 2010.2 B5 8p
見学会のお知らせ
資料紹介(入手困難) 『富士の里
須走』、『富士河口湖町 古の
小径 集成版』／資料紹介(入手
可能) 『大田区の文化財 第三
十一集 大田区指定有形民俗文化
財とその周辺』、『市川大門町
郷土資料集No6 市川大門町
一宮浅間宮帳』、『関東の富士見
百景 富士山の見えるまちづく
り 選定128景 案内ガイド』、
「1:50000火山土地条件図 富士
山」／資料紹介(入手可能だが
古書) 富士山麓ガイドシリー
ズ 富士宗四郎著

◆昔風と当世風 古々路の会
〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410
津山方 TEL048-976-9387
◇94 2010.3 B5 82p
《福島県東白川郡鮫川村合同調査特集》
福島県東白川郡鮫川村の民家三棟
宮崎 勝弘
鮫川村の合同調査 折橋 豊子
納戸の観念的位置 森 隆男
鮫川村調査の参加して 早瀬 哲恒
高阪家家相文書を読む 佐志原圭子
なつかしい暮らしの道具
—東白川郡鮫川村の民具など 北河 直子
鮫川村の隠居制と葬制
—福島県東白川郡鮫川村 松尾あずさ
阿武隈南部のおいしいもの
—鮫川村の食べものから 丸山 久子
疫病除け祈願のお日需待

—渡瀬地区字下 折橋 豊子
鮫川村の母子健康センター跡で福
島県のお産を考える むらき数子
阿武隈高地の大工と茅手
—福島県東白川郡鮫川村 津山 正幹
鮫川村で見たもの聞いたこと
—生業と民具 五十嵐 稔
明治の小学校(3) 開智学校にみ
る当時の子供たち 古川 修文
ニュースから(1)～(7)／合同調査
の報告とお知らせ

◆**印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会**会報
〒284-0003千葉県四街道市鹿渡2001-10
第二庁舎 四街道市教育委員会教育部社会
教育課市史編さん室 TEL043-424-8927

◇14 2010.3 A4 8p
第2回研修会 芳賀町総合情報館
—文書館機能—について 富田 健司
第2回研修会 芳賀町総合情報館
—研修視察雑記 林田 利之
第4回研修会 事例報告 佐倉市
における資料調査・収集と活用
—『佐倉市史』巻四(近現代編)
の編さんを中心として 土佐 博文
第4回研修会 アンケート—各市
町村における歴史資料の収集事
業等について(古文書編) 石戸 啓夫
第6回研修会 柏市郷土資料展示
室を視察して 横尾 早紀

◆**郷土史研通信** 八千代市郷土歴史研究会
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
牧野方 TEL047-484-9728 年3000円
◇69 2010.2 A4 4p
「旧萱田村」フィールドワーク 成田 忠志
恒例の新春「亀戸七福神めぐり」
「八千代八福神めぐりバスツアー」

報告

◆**佐倉市史研究**

佐倉市総務部行政管理市史編さん担当
〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78
TEL043-486-3478

◇23 2010.3 A5 141p
『佐倉市史』考古編編さん中間報告
二つの旧石器 橋本 勝雄
埴輪の胎土分析 萩原 恭一
講演録
佐倉藩堀田家とその家臣団 根岸 茂夫
下総国印東庄の領主と百姓・沙汰
人 菱沼 一憲
佐倉藩の積奠について—二つの
『積奠儀略』と堀田正睦 外山 信司
「スペイン風邪」と但馬堅之丞 中澤 恵子
享保十年五月 山形分限帳 市史編さん担当
長崎に遊学した佐倉藩の鉄砲鍛冶
—佐倉藩士・遠藤直桓とその刀
剣 井原 重之
佐倉藩士栗原幾三郎「大坂在番日
記」(1) 竹村 道央
購入資料の紹介
佐倉藩堀田家中田村家文書

◆**紙魚之友** 房総史料調査会
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室

◇26 2010.3 B5 4p
調査報告 睦沢町北山田飯塚泰治
家旧蔵文書 武部 愛子
2009年12月 下小野区有文書 於
千葉県立中央博物館大利根分館
香取市下小野区有文書調査参加
記 畑山 周平

◆**総合女性史研究**

〒270-1138千葉県我孫子市下ケ戸1133
川村学園女子大学 梅村恵子気付
TEL04-7183-7113 www.soc.nii.ac.jp/srwh/
◇27 2010.3 A5 108p 1200円
文明開化期「男女交際論」の受容
と展開—『穎才新誌』の「男女
交際」に関する論争を中心に 宋 恵敬
第一回全国小学校教員会議におけ
る職業と家庭の両立に関する議
論 齋藤 慶子
大会の記録 女性史再考—政治、
家族、労働、性、表現、戦争・
平和
女性史と私
—在野研究者のあゆみ 古庄ゆき子
書評 小平美香著『女性神職の近
代—神祇儀礼・行政における祭
祀者の研究』／高梨一美著『沖
縄の「かみんちゅ」たち—女性
祭司の世界』／アンヌ・ブッシ
イ著『神と人のはざまに生きる
—近代都市の女性巫者』
ひろば
「第九回女性史研究東京連絡会」
に参加して 山辺恵巳子
“新たな歩み”を創り出した第
八回「歴史認識と東アジアの
平和」フォーラム・東京会議
宇野 勝子
今井堯氏を偲ぶ 西村 汎子
新刊紹介 後藤みち子著『戦国を
生きた公家の妻たち』／関民子
著『只野真葛』／堀場清子著『高
群逸枝の生涯—年譜と著作』／
ジェンダー史叢書6 長野ひろ
子・松本悠子編『経済と消費社
会』／新編日本のフェミニズム

10 加納実紀子ほか編『女性
史・ジェンダー史』
地域女性史の成果『明治・大正・
昭和 かまぐらの女性史 年
表』／『西さかせみ女性の歴史—
原始・古代から現代へ—』／『続・
あつぎの女性—民権家子孫の聞
き書きと女性史年表—』

◆**たかっぱ通信**

千葉県立中央博物館大利根分館
〒287-0816千葉県香取市佐原ハ4500
TEL0478-56-0101
www.chiba-muse.or.jp/OTONE/
◇2 2010.3 A4 4p
水塚調査隊、2年次目に入る 2
年間の調査成果／倉の内部構造
について／水塚測量調査(2)
十六島新田の成り立ちと歴史(2)

◆**千葉県立関宿城博物館研究報告**

〒270-0201千葉県野田市関宿三軒家143-4
TEL04-7196-1400
www.sekiyadohaku.com
◇14 2010.3 A4 68p
発刊にあたって 郷田 良一
野田市の伊勢信仰—奉納絵馬・記
念碑を中心として 石田 年子
史料紹介
久世廣業家記 四冊之一(読み
下し) 中村 正己
嘉永七甲寅年 笏 記
千葉県立関宿城博物館古文書研究会
研究ノート
「押堀」と「落堀」の治水地形
用語の使い分けについて い
わゆる「おっぼり」は「落堀」
ではなく、「押堀」が正解で

す！ 市川 幸男
関宿城博物館周辺の植生の近況
(2009年) 岩槻 秀明

◆東邦考古 東邦高等学校考古学研究会会誌
〒275-8511千葉県習志野市泉町2-1-37
東邦大学附属東邦高等学校内
TEL047-472-8191
◇34 2010.3 B5 68p
研究ノート 千葉県内の竪穴住居
跡の面積(19) 東邦考古学研究会
ラオス北部における犁先の生産
—鑄造技術の紹介 神野 信
西周研究ノート(1)
—「教門論」を読む 寺崎 信之
再検討・千葉県内の「方形周溝墓」
(18) 山岸 良二
本校主催 地域にひらかれた文化
講演会実施正式記録「習志野と
日露戦争」 山岸 良二
日本テレビ系「世界一受けたい授
業」出演顛末記 山岸 良二
2009年度東邦考古学研究会 岩手
宮城合宿記録 山岸 良二

◆成田市史研究 成田市立図書館
〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3
成田市教育委員会 TEL0476-27-4646
◇34 2010.3 A5 141p
平成20年度市史講座講演録
古代の成田と香取の海 平川 南
天保期印旛沼普請後の掘割とその
利用 鎗木 行廣
「オビシャ」考(3)
—心意伝承の断片的考察 生方 徹夫
梅成会の久保田きくいさんに聞く
成田の謡について 語り手・久
保田きくい 矢島 毅之

成田市史調査員だより(3)
公津ヶ原古墳群—成田ニュータ
ウンの古墳群 高木 博彦
長沼周辺の貝塚 小川 和博
浄慶作の仏像をめぐる 木村 修
大須賀氏の日蓮宗信仰 外山 信司
小菅村で病死した巡礼者 鎗木 行廣
佐倉藩の雨乞い祈祷 小倉 博
忘れられた大生小学校 神尾 武則
遠山村東和田青年会の視察記録
中村 政弘
夭折の法学者・中路俊郎 矢嶋 毅之
八代金比羅神社の真鍮製御幣 藤下 昌信
成田地区の石造物 島田 七夫
成田市史年表稿 2007(平成19)年
中村 政弘
成田市関係新聞記事目録
2007(平成19)年

◆成田史談 成田市文化財保護協会
〒286-8585千葉県成田市花崎町760
成田市教育委員会生涯学習部生涯学習課文
化振興係内 TEL0476-20-1534
◇55 2010.3 B5 50p
吉岡本「地藏堂通夜物語」につい
て(報告) 滝口 昭二
史料紹介「田園歌人魚貫」 及川 紘
成田地区の歴史地名 小倉 博
秋の歴史講演会 成田市教育委員会
登録有形文化財の原簿登録につい
て 成田市教育委員会

◆日本村落自治史料調査研究所研究紀要
〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1
川村優方 TEL0475-33-5582
◇14 2010.3 A5 38p
石出帯刀の禄高に関する考察 石出 猛史
文政10年(1827)御改革組合村の始

源—特に両総地方における村連
合 川村 優
児玉幸多先生追悼特集
父の追憶と今 児玉 与史
『近世農政史料集』の続刊、実現
によせて 川村 優
研究余滴
下総における弘文天皇妃の伝承
松井 安俊
香取神宮と成田山新勝寺のこと
久保木 良
雑 感 鴻野 廣
房総書誌題目—「地方史研究」
新刊案内から 井上 隆男

◆松戸市立博物館紀要
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
TEL047-384-8181
www.2.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇17 2010.3 A4 26+26p
岩種から見た松戸市内の磨製石斧
について 柴田 徹
講演録 西アジアにおける家畜飼
育—乳利用と乳製品の歴史を探
る 三宅 裕
研究ノート 明治初年小金原開墾
事業と五香六実の人々 柏木 一朗

◆まつどミュージアム 松戸市立博物館
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
TEL047-384-8181
www.2.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇18 2010.2 A4 4p
コレクション紹介
下総国分寺跡出土の瓦
下総史料館をご存じですか
下総史料寄贈資料の整理と公開 大森 隆志
アンケートボックスの中の声

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861 1993年創刊
◇82・83(36・2・3) 2009.12 A5 214p 2100円
《特集 東日本における同和教育の課題》
東日本同和教育実践交流会の報告
東日本部落解放研究所教育部会
東日本同和教育実践交流会の開催
に向けて—「部落の子どもたち
に部落をどのように伝えるか」
を巡る議論の必要性 鎌田 行平
Tと歩む—もう一度、このむらの
教師として 岩崎 正芳
「万里一条の鉄」—33年前の生徒た
ちに応える実践を 桐畑 善次
シリーズ 訪ねる(6)
石田貞さん 松浦 利貞
みえない壁をみつめのりこえる 金 玉 熙
「南葛定卒業式不起立 1 円裁判」
に起って—日の丸・君が代の強
制は許せない 木川 恭
「普天間基地移設」問題の経緯と
本質 鐘ヶ江晴彦
狭山事件・第三次再審請求の新展
開について 編集部
古文書を楽しむ(3) 古文書を読む会
書評 有元正雄著『近世被差別民
の東と西』 藤井 寿一
会員・読者のページ／活動日誌

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇504 2010.2 A4 4p
新公開の資料から—墨書、設計図、
生活資料ほか 郷土博物館
都市近郊の農産物を追う(26)

しめ飾り (5) 萩原ちとせ

◇505 2010.3 A4 4p
幕府大棟梁甲良家について(前)
あさくらゆう
都市近郊の農産物を追う (26)
しめ飾り (6) 萩原ちとせ

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇263 2010.2 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本の教育 (98) 新教育指針 第六章結論—平和的文化国家の建設と教育者の使命 堀川 和夫
日本各地の「舍人」という地名(下)
(1)一名古屋市舍人町と舍人氏 竹内 秀夫
下谷七福神巡り報告
◇264 2010.3 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本の教育 (99) 新教育指針 第六章結論—平和的文化国家の建設と教育者の使命 4 教育者はどこに希望と喜びを見出すべきか 堀川 和夫
日本各地の「舍人」という地名(下)
(2)一名古屋市舍人町と舍人氏 竹内 秀夫
中山道旧蔵宿探訪報告

◆あるむぜお
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇91 2010.3 A4 8p
シリーズ世界天文年(4) 世界天文年終了 そして天体観測新時

代へ 本間 隆幸
展示会案内
特別展 お稲荷さんの世界 佐藤 智敬
NOTE 古代国府びとの食を探る 深澤 靖幸
坂本長利「土佐源氏」資料の世界
(4) 次の「土佐源氏」へ 佐藤 智敬
最近の発掘調査 中世区画遺構群の建物集中部を発見! 本宿町一丁目 湯瀬 禎彦
小説 探鳥物語(4) 中村 武史
未来の目視者たち

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682
◇257 2010.3 A5 47p
寄稿 櫻井徳太郎展記念講演録 櫻井徳太郎先生一人と学問(前) 佐々木宏幹
寄稿 江戸上水のしくみ—給水技術と経理 肥留間 博
史跡を訪ねて(14)
23区の古民家を巡る(中) 猪瀬 尚志
写真ニュース(17)
「初庚申」の日の庚申塔は? 井上 富夫
一枚の写真から(3) 昭和35年、若木通りと若木小学校 泉 貞代
私見「減失・損壊のおそれのある板橋区登録・指定文化財のリスト」 井上 富夫
ひろば
「戦国武将板橋将監親棟」研究のいきさつ 田邊 博彬
第8回「櫻井徳太郎賞」受賞式に参列して 泉 貞代

◆稲荷山通信 八王子市史編さん室だより
八王子市総合政策部市史編さん室
〒193-0943東京都八王子市寺田町1455-3
TEL042-666-1511
◇4 2010.3 A4 12p
市民の皆さんとともに、市史編さんをすすめます—「八王子市史編さんの基本的な考え方—市史編さん基本構想—」を決定しました
八王子市史編さんの基本的な考え方—市史編さん基本構想／八王子市史編集方針
地域からの声
八王子市高月町 澤井榮さん
各専門部会の主な活動状況(平成22年1月31日まで)
資料紹介 ウサギの需要と「多摩荘養兎研究所」 渡部 恵一
「翼賛の春の起つ③ 御曹司が兎飼ひ 重役から百姓に転向の弁」(東京日日新聞「府下版」昭和16年1月9日付)
歴史編さんと公文書—八王子市都市政策研究会議の活動から 前田 成東
市史編さんのあゆみ／受贈図書・資料
歴史の窓(4) THE POWER OF DOGU—イギリスへ渡った八王子の土偶 馬場 有美

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
加藤恒彦方
◇372 2010.3 B5 27p
お世話になりました、有り難う 浦野 要
伝統は変わらず、成熟した山歩きを 加藤 恒彦

奥武蔵、秩父の獅子舞(33)
—子安浅間、小瀬戸の舞 関口 洋介
高山不動「参道七鳥居版木」解 小泉 重光
山と私 染谷 鷹治
武甲山、四季を詠む 木本 和男
奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭難 町田 尚夫
山行報告

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040
◇95 2010.2 B5 12p
第28回定期総会 馬場 永子
第324回月例研究会
幹線道路の敷設と滝野川の発展 有馬 純雄
第325回史跡研究会 忠臣蔵を歩く—泉岳寺から白金高輪まで 飯塚 利男
第326回月例研究会 明治43年の東京大水害—その時、先人はいかにして対処したか 領塚 正浩
寄稿 見果てぬ夢に生きた児玉南柯(1) 豊島 信夫

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会
〒192-0151八王子市上川町3160-9
車田勝彦方 TEL042-654-3101
◇31 2010.1 B5 16p
ご挨拶 車田 勝彦
総会報告
創立30周年記念式典を開催 玉利 勝範
平成21年春の見て歩き「八王子千人同心」の足跡を訪ねて 田宮 勝代
本の紹介
久保喜一著『写し絵日記』 伊藤 弘一
小田原透谷祭との十年 高澤 寿民
郷土史講演会 八王子市生涯学習

センター川口分館共催 「千人
同心研究の周辺」野嶋和之氏 杉田 博
秋の史跡めぐり 絹の道資料館と
津久井城を巡る 瀬沼 秀雄
平成21年度川口中学校一年生総合
学習「地域調べ」の報告 齋藤 三男
第2回高尾山とんとん地蔵尊会 車田 勝彦
第36回北村透谷研究会全国大会
民権家・透谷を再検証 岡村 繁雄
開書 川口・少し昔の暮らし(2)
里山の仕事―秋山久芳さん 車田・岡村
行事報告 一年を振り返る

◆史学研究集録

国學院大學大学院史学専攻大学院会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
TEL03-5466-0142
◇35 2010.3 A5 110p
満州事変勃発後の「宣統帝ヲ頭首
トスル志那政権」案について 樋口 秀実
「土師」と土器の貢納 溝口 優樹
中世後期在地寺院の収取の特質に
ついて―二つの天台系寺院を素
材として 窪田 涼子
史料紹介 『綱光公記』自文安五
年八月一日至九月二十九日 野村 朋弘
平成21年度國學院大學田子家文書
研究会活動報告―陸奥国磐前郡
上三坂村田子文書目録(7)
活動状況 (2009年4月～2010年3
月)／既刊目録 (1号～34号)

◆品川歴史館紀要

品川区立品川歴史館
〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
TEL03-3777-4060 1986年創刊
◇25 2010.3 B5 152p
大森貝塚の再生 坂詰 秀一
徳川家光における政治と遊び

―品川御成の意義 山本 博文
沢庵と天海
―品川歴史館特別展に因んで 浦井 正明
東海寺の文房具・茶道具について
名児耶 明
沢庵宗彭と謡曲『熱海』 柘植 信行
特別展「品川を愛した將軍徳川家
光―品川御殿と東海寺―」の成
果と課題 富川 武史
東海寺所蔵古墳時代遺物とその学
史的背景 本間 岳人
古代大井駅を探る
古代大井駅を探る
―古代東海道の変遷 森田 悌
古代東海道の経路
―森田悌氏説に対する私見 木下 良
古代道路の性格と道路に施され
た土木技術 早川 泉
東京の古代道路―道路から古代
「大井駅」を探る 松原 典明
慶應3・四年「御上洛御供中日記」
にみる使番京極要之助とその家
臣の動向 高久 智広
阿波藍商人「大坂屋庄三郎」の江
戸進出とその動向―東大井・来
福寺の阿波藍商人関連石造物の
刻まれた人々 坂本 道夫
戸越村の地籍図について 星野 玲子
相川家の多様な経営―南品川宿材
木商相川家文書について 松田 暁子

◆自由民権

町田市立自由民権資料館紀要
〒195-0063東京都町田市野津田町897
TEL042-734-4508 1987年創刊
◇23 2010.3 A5 144p
《特集 豪農にとつての幕末維新》
特集にあたって
豪農の幕末維新―武州西多摩郡五

日市深沢村の豪農深沢氏と民権
運動 江井 秀雄
明治初年の青年・山口左七郎 渡辺 尚志
名望家の地方自治要求と民権運動
―大分県速見郡立石村一件と自
由党 丑木 幸男
もうひとつの歴史学―色川大吉
『自分史』に寄せて 櫻沢 一昭
「末広鉄腸関係資料」について―
宇和島市立伊達博物館および愛
媛県生涯学習センター所蔵資料
の来歴と概要 真辺 美佐
書 評
牧原憲夫『文明国をめざして』中野目 徹
牧原憲夫『文明国をめざして』中嶋 久人
新刊紹介
渡辺尚志『東西豪農の明治維新』
坂井 飛鳥
長井純市『河野広中』 渡部 恵一
民権ネットワーク
青森県 河西 英通
秋田県 田口勝一郎
福島県 森田 鉄平
埼玉県 鈴木 義治
千葉県 矢嶋 毅之
東京都 福井 淳
町田市 松崎 稔
神奈川県 大湖 賢一
新潟県 横山 真一
福井県 池内 啓
長野県 中島 博昭
静岡県 加藤 善夫
京都府 飯塚 一幸
高知県 中村 茂生
大分県 野田 秋生
鹿児島県 久米 雅章
田中正造 赤上 剛
文 学 西田谷 洋

自由民権運動関係文献情報(23)

◆城郭史研究

日本城郭史学会 (発売：東京堂出版)
〒174-0042東京都板橋区東坂下2-4-3-1103
TEL03-3967-1948 年6000円
◇29 2010.3 B5 116p 2700円
縄張編年論に関する提言
―その研究史整理と課題 竹井 英文
江戸時代における台場築城と想定
戦闘 久保田正志
北陸における海賊考―能登半島と
富山湾を駆け巡る海賊たち 高井 勝己
武州瀧の城の考察 奥田 好範
砕玉類題
常陸小幡城―茨城県の中世城郭
「小幡城」に関する考察 坂井 尚登
中国北京の城址、万里の長城と
敦煌―日本城郭史学会の中国
城郭旅行会に参加して 村田 宏
城址探訪の魅力を考える
―45年間の城址探訪から 白土 保範
城郭史関係論文目録 阿部 和彦
活動報告／図書紹介

◆書籍文化史

鈴木俊幸
〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
中央大学文学部3833号室 TEL042-674-3789
2000年創刊
◇11 2010.1 A5 168+32p
平野神社御文庫講と平田篤胤 中澤 伸弘
古活字版悉皆調査目録稿(1) 高木 浩明
長野県行政文書より旧長野県書籍
文化・メディア関連史料(2)
青柳涼子／鈴木翔／素野
辰也／檜垣優／磯部敦
「鵜飼鍊斎墓誌」の事例と拓本採
取の意味 岩坪 充雄

資料紹介 白川好静堂由兵衛引札
鈴木 俊幸
『増補改訂 近世書籍研究文献目
録』補遺(3) 鈴木 俊幸

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円
www11.ocn.ne.jp/~oinari/
◇210 2010.3 B5 37p
平成年間の君ヶ畑・蛭谷 大島 建彦
東京都八丈島八丈町におけるタナ
バ(丹娜婆)の伝承 山本 節
新四国相馬霊場を開創した観覚光
音の血盆経 近江 礼子
亀戸天神の鸞替え
—東京都江東区亀戸天神社 長沢 利明
矢落神と天樟魔命 北野 晃

◆戦国史研究
戦国史研究会(発売:吉川弘文館)
〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
TEL03-3813-9151
◇59 2010.2 A5 48p 700円
南奥戦国領主の離城と帰城
—石川晴光・昭光の場合 小豆畑 毅
今川氏親の名乗りと足利政知 家永 遵嗣
羅針盤
下総篠塚の陣に関する一史料 佐藤 博信
北条綱成の父母 黒田 基樹
桜井松平家と東条松平家の所領
争い 平野 明夫
大和国支配期の松永久秀の相論
裁許 松永 英也
津田信張の岸和田入城と織田・
長宗我部関係 平井 上総
弘治年間の村々の災害 藤木 久志
戦国史関係論文目録(平成21年1月

～6月)
例会記録／例会報告要旨
◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇201 2010.2 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(14)
◇202 2010.2 A4 2p 100円
創立15周年記念イベント開催／
「玉すだれ」(言葉)初見
◇203 2010.3 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(15)
◇204 2010.3 A4 4p 100円
明治は遠くになりけり／大道芸術
女砂文字の死
◇205 2010.3 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(16)

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
たましん国立支店内 TEL042-574-1360
年1200円 www.tamashin.or.jp
◇137 2010.2 A5 112p
《特集 多摩流域の七世紀代古墳》
多摩川流域の七世紀代古墳
—研究のあゆみと築造の背景 坂詰 秀一
七世紀における多摩川中流域左岸
の古墳と集落—古墳の造られた
時代から国府の時代への転換 江口 桂
三鷹市・天文台構内古墳の〈かた
ち〉 高麗 正
稲荷塚古墳と臼井塚古墳
—隣接する首長墳 桐生 直彦

古墳からみた多摩川上流域の七世
紀 紺野 英二
多摩の終末期古墳と横穴墓の生活
松崎 元樹
古墳の保存と活用の現状 岡崎 完樹
洋風建築への誘い(26) コーナー
を飾る101歳の校舎—日本獣医
生命科学大学 伊藤 龍也
建物随想記(21) ヴォーリズ館の
階段について思う事 酒井 哲
古文書は語る(27) 品川台場築造
と松丸太の伐り出し—大塚家文
書「御林山松丸太御伐り出し書
上げ控」より 馬場 憲一
三鷹市大沢の峯岸水車、機械遺産
に認定される 小坂 克信
本の紹介
伊奈石の会編『横沢入の歴史遺
産を歩く—伊奈石の石切場と
石仏』 角田 清美
三鷹市山本有三記念館編『解説
三鷹市山本有三記念館』 後藤 治
郷土の歴史を未来に生かす事業
実行委員会編『青葉のあゆみ』
阿諏訪青美

◆地方史研究
地方史研究協議会(発売:岩田書院)
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円
◇343 (60-1) 2010.2 A5 126p 1143円
武田親族衆穴山信君の江尻領支配
柴辻 俊六
近世後期の「離檀」をめぐる権力
・寺院・民衆 林 宏俊
2009年度(第60回)大会・総会報告
第60回(都城)大会参加記
中村友昭／中津明日香／米津英昭

／西光三／日隈正守／佐々木克哉
立入り成果報告シンポジウム後の
陵墓運動の動向 谷口 榮
陵墓関係一六学協会「陵墓限定公
開」30周年記念事業シンポジウ
ム「陵墓公開運動の三〇年の総
括と展望」に参加して 生駒 哲郎
「陵墓」の公開化と多面的価値の
模索について 斉藤 進
シンポジウム「文化財と史料保存
問題を考える」参加記 福島 幸宏
シンポジウム「地域の史料保存と
人材育成—その現状と課題—」
参加記 佐藤正三郎
第2回四国地域史研究大会シンポ
ジウム「四国の大名—大名の交
流と文化—」参加記 清水 邦俊
展示批評 横浜歴史博物館・開港
150周年記念特別展「海賊—室
町・戦国時代の東京湾と横浜—」
風間 洋
企画例会報告要旨 苅米一志／長瀧薫

◆千代田区立四番町歴史民俗資料館だより
〒102-0081東京都千代田区四番町1
TEL03-3238-1139
rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp
◇33 2010.3 A4 8p
特集 平成22年度指定文化財紹介
神田亀住町文書 265点／御上
洛御用留 1点／石牛 1基 高木 知己
文化財調査報告書 新刊紹介
「千代田の記憶—区内生活史調
査報告書—」(700円)／文化財
調査報告書(18)「弥勒寺跡・栖
岸院跡発掘調査報告書」(1400
円)／「原胤昭旧蔵資料調査報告
書(3)—江戸町奉行所与力同心

関連資料—(900円)／「ある蔵書家の書棚—斎藤吉之氏旧蔵資料調査報告書—」(900円) 滝口 正哉
埋蔵ニュース 弥勒寺跡115号遺構出土の木製人形 水本 和美
史跡江戸城外堀跡保存管理計画 江戸城外堀の価値を伝える—史跡江戸城外堀跡再発見フォーラム開催 後藤 宏樹
千代田区ミュージアム連絡会参加館の紹介 ニューオータニ美術館

◆伝 え 日本口承文芸学会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學文学部 花部英雄研究室
TEL03-5466-0224 年4000円
◇46 2010.2 B5 10p
放鷹文化への誘い 福田 晃
第58回研究例会シンポジウム「『再話』論の射程」 編集担当
昔話の本文textをどこに求めるか—第58回研究例会シンポジウム「『再話』論の射程」参加記 廣田 収
〈小特集 フィールドから〉
ロシアのフィールドから 齋藤 君子
浜を歩き、船に乗る 川島 秀一
川というフィールドから 達 志保
石垣島川平の儀礼調査—ことばを聞く・ことばをめぐる聞く 澤井 真代
雑賀貞次郎と南方熊楠—「南方民俗学」の学史再検討 広川英一郎
企画展示報告
講評だった青森の妖怪展 佐々木達司
出版報告 手許に眠る資料—佐藤タミ・常光徹(編)『鳥海山麓のむかし話 佐藤タミの語り』 常光 徹

◆東京産業考古学会
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com
◇81 2010.3 B5 4p
見学会「山手線赤れんが高架橋見学ツアー」 中川 洋
研究会「産業考古学4 足尾鉾山の光と影」 田口 勇
関連団体情報／新入会員紹介／第8回理事会の議事概要
茨城県阿見町の赤煉瓦建築物(1)
旧霞ヶ浦海軍航空隊中央格納庫 八木 司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4
財政治経済研究所 TEL03-5857-5631
www.tokyo-sensai.net
◇16 2010.2 A4 8p
語り継ぎのカナメの持続に 維持会員を一人でも多く 早乙女勝元
4月から本格スタート 東京空襲の証言を「映像」で残していきます／2009年第2回特別展 東京・ゲルニカ・重慶 空襲写真展／2009年連続講座 東京・ゲルニカ・重慶
語り継ぐ 受け止めてあしたへ
2009・夏の親子企画 お話、一人音楽劇、紙芝居そして木工や折り紙
研究と交流 第3回無差別爆撃シンポジウム 「無差別爆撃」の転回点—ドイツ・日本 都市空襲の位置づけを問う／2009年度 博物館学芸員実務実習
感想ノートから／司法の責任を放

棄した判決—東京大空襲訴訟・東京地裁判決
父が残した「戦災記」—吉沢美楯さんより

◆日本民俗音楽学会会報
〒184-8501東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学音楽・演劇講座 加藤富美子
研究室気付
◇32 2010.3 B5 26p
《日本民俗音楽学会第23回浜松大会特集》
巻頭言 浜松大会を振り返って 小島 美子
浜松大会を終えて 城所 恵子
「ヒヨンドリ」に見る民俗音楽の研究課題」の補足 星野 紘
家族のような大会でした 吉川 祐子
浜松大会シンポジウムを振り返って—東海道と民謡 西角井正大
中世の「東海道」にあそぶ 入江 宣子
まつり・イベント情報
研究発表余話
浜松の大会開催と祭礼獅子研究の課題 小野寺節子
能楽離子における能管演奏技法を探る 新海 立子
研究発表を終えて—フィールドワークに思うこと 田村にしき
民俗音楽公演に出演して 第23回 浜松大会での公演を終えて 松本 勝雄
参加者の声
民俗音楽研究初探訪記 梶丸 岳
実り多き浜松大会 佐々木正太郎
民俗芸能と音楽科教育 萬 司
カメラリポート
研究ノート 「生野踊り」今昔 大渡 敏仁
平成21年度日本民俗音楽学会総会報告
寄贈図書等介

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
◇326 2010.3 A4 4p
「服部半蔵幸隆」人物考(8) —高松庵寺の仁王像銘をめぐるM氏書簡によせて 日向康三郎
豊島氏関係史料を読む(13) 関東管領上杉房顕と豊島氏(2) 伊藤 一美
能楽余聞 酒にまつわる謡曲(2) 木曾 賢隆
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達(9) 鎌田 茂男

◆練馬区地名研究会会報
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264 年2500円
◇90 2010.2 B5 4p
第90回例会
enrum 由来の地名を探る 村崎 恭子
地名類型を考える(12)
「谷」地名再考 後藤 光
小関考—旧上石神井村小名(3) 下島 邦夫
図書紹介 桑島新一監修『昭和30年・40年代の練馬区—なつかしい青春の記憶』 徳川 達子

◆府中市郷土の森博物館紀要
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1988年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇23 2010.3 A4 43+68p
府中市郷土の森博物館フィールド内の野鳥相について 相馬尚教／中村武史
古代武蔵国府の成立 深澤 靖幸
中世武蔵府中の誕生—文献からみた画期としての11世紀 小野 一之
幕府の政策から見た川崎平右衛門定考の登用—将軍吉宗側近との

かわりを通して 野田 政和
府中の火消し
—江戸時代の火事と消防 花木 知子

◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方 TEL03-3711-3959

◇661 2010.2 B5 8p 150円
路線バスに乗って区内案内(6)
(渋71系統)「渋谷駅東口～洗足
駅」線の内、洗足学園前～洗足
駅 平山 元也
江戸五色不動の謎(11) 田丸 太郎
二つの細川上水 橋口 明子
碑文谷日大プール 栗山 佳也

会報にみる目黒の昔(27)「“マン
ション王国”目黒区」／「目黒の
『笥めし』のはなし」太田省三
「柿の木坂の移り変わり」
「昔話関係」から 柿の木坂町会
街角ニュース 東山の馬頭観音祠
が再建された 編集部

◇662 2010.3 B5 8p 150円
路線バスに乗って区内案内(7)
(渋72系統)「渋谷駅東口～五反
田駅」線の内、渋谷駅東口～中
里橋 平山 元也
江戸五色不動の謎(12) 田丸 太郎
三田用水の行方 橋口 明子
目黒地名の由来を尋ねて 目黒 英夫
立願寺の水行式 高林 健二
平成21年度収支決算書／平成22年
度予算書

◆阿夫利 厚木市文化財協会会報
〒243-0004神奈川県厚木市水引14-11
飯田孝方 TEL046-221-0232 1991年創刊
◇19 2010.2 B5 52p

柏木喜重郎さんを悼む 渋谷 利雄
「厚木町 大夫元」辻番付について 平本 元一
資料紹介 『愛甲郡誌』と『村瀬
米之助』 伊従 保美

◆小田原地方史研究 小田原地方史研究会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 TEL0465-22-5862 1969年創刊
◇25 2010.2 B5 126p 950円
《創刊40周年記念》

滝川一益の活動と関東の領主層の
対応 梯 弘人
「仕置き」としての縁組み
—稲葉正則と伊達綱村 下重 清
近世後期村役人の金子借用と返済
—「金銀入出帳」の分析を通じ
て 荒木 仁朗

昭和初期における短期現役兵—小
田原出身・八田禮の内務班日誌
より 井上 弘
宮田寅治による学校創設運動と私
立中郡盲人学校 津田 守一
書評

山口博『戦国大名北条氏文書の
研究』 梯 弘人
服部早苗・宇佐美ミサ子『西さ
がみ女性の歴史—原始・古代
から現代へ—』 松尾 公就
森武磨(編著)『1950年代と地域
社会—神奈川県小田原地域を
対象として—』 井上 弘
戦時下の小田原地方を記録する
会編『戦時下の小田原地方を
記録する会 30年のあゆみ』加藤 好一

小特集
40年の歩みと展望
山口博／下重清／井上弘

『小田原地方史研究』創刊号～
第24号 総目次

◆神奈川県立公文書館だより
〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
TEL045-364-4456 1994年創刊

◇23 2010.3 A4 4p
大山講中札(まねき)
展示を終えて「地震・洪水・火
事・噴火—人々はいかにして災
害から立ち直ったか—」
ミニ展示を終えて「飯田家文書
にみる地方名望家」
ミニ展示を終えて「開発と自然
保護をめぐる」
所蔵資料紹介 行政刊行物・図書
資料『高橋是清自傳』
所蔵資料紹介 古文書資料 相模
国大住郡下糟屋村能条家文書

◆神奈川県地域史研究 神奈川県地域史研究会
〒236-8501横浜市金沢区六浦東1-50-1
関東学院大学経済学部 田中史生研究室
TEL045-786-7833 年4000円 1984年創刊

◇27 2010.1 B5 170p 3500円
〈2008年度総会研究報告「神奈川県域の古代
寺院を考える」〉
総会研究報告趣旨
相模国における古代寺院の展開—
宗元寺跡の忍冬交飾蓮華文軒丸
瓦の系譜と年代をめぐる 國平 健三
相模・武蔵南部における地方寺院
の成立—宗元寺跡を中心として 三舟 隆之

総会研究報告討論要旨
東海道藤沢宿の間屋場
—宿駅の人馬継立 大石三紗子
一遍の鎌倉入り—『一遍聖絵』の

検討を中心に 石塚 勝
例会記録

2008年6月見学会参加記 横浜市
歴史博物館企画展「古代のムラ
の神(カミ)・仏(ホトケ)」見学
会参加記 浅野 充

2008年11月見学会参加記 神奈川
県立歴史歴史博物館特別展「戦
国大名北条氏とその文書—文書
が教えてくれるさまざまなこと
—」見学会参加記 中田 圭祐
2009年1月見学会参加記 伝北条
氏名越居館跡見学会参加記 石井 喬

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会
〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12
大湖賢一方 TEL045-825-3736 1987年創刊
◇22 2010.2 B5 49p

巻頭言
ペリー来航から横浜開港へ 神谷 大介
弘化・嘉永期における御固四家の
海防諮問と評議について 山本 慧
日葡修好通商条約に関する一考察 塚越 俊志

〈夏の集中研究会記録〉
シンポジウム 大正時代の描かれ
方 鈴木 由子
大正時代の描かれ方—研究史から 内田 修道
学校教育における大正時代像 大湖 賢一
『佐久間権蔵日記』にみる大正時
代の事象 伊東 富昭

◆県央史談 県央史談会
〒243-0004神奈川県厚木市水引14-11
飯田方 TEL046-221-0232 1961年創刊
◇49 2010.1 A5 107p
随筆 旧国名「相模」について 田中 將浩

「恩名」地名再考
 —古文書と伝承から探る 柳下 安行
 半原小学校の校歌制定の思い出 大塚 博夫
 愛川村半原、原下の水車利用とそ
 の周辺について 小島 茂平
 極楽寺観音堂の造立とその主唱者 吉野 勝洋
 厚木飛行場の名称を検証する 千葉 弘
 糟屋村の八王子千人同心 三神佐
 次右衛門（柳生心眼流小山派武
 術など） 島崎 秀雄
 川勾神社と二宮の史跡巡り 荻山勝重／柳下安行
 多摩地方の史跡をたずねて 大平 武之
 前鳥神社と平塚の史跡めぐり 内藤 佳康
 平成21年度事業報告

◆コロス 常民文化研究会
 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
 西海賢二方 年1000円
 ◇120 2010.2 B5 6p
 城下町の民俗の世界
 —小田原の年中行事(8) 西海 賢二

◆寒川町史研究 寒川文書館
 〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山
 135-1 TEL0467-75-3691 1988年創刊
 ◇23 2010.3 A5 127p
 《特集 花川用水と目久尻川》
 特集にあたって 大口勇次郎
 町史講座 さむかわ用水路物語
 —花川用水と目久尻川 馬場 弘臣
 資料紹介 花川用水関係史料 椿田有希子
 講演会記録 図書館・文書館の底
 力—情報資源をみんなのため
 に・未来のために 佐藤 勝巳
 展示会記録
 広報さむかわの60年 椿田有希子

寒川村ができたころ 林 宏美
 講座記録
 江戸時代の古文書 高木 秀彰
 梶原景時の史料を読む—吾妻鏡
 の世界Ⅲ 渡辺 真治
 寒川町史年表稿

◆寒川文書館だより
 〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-
 1 TEL0467-75-3691
 www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp
 ◇7 2010.3 A4 8p
 資料紹介「公民館の設計図面」
 （寒川町蔵） 高木 秀彰
 進む公文書劣化対策事業
 シリーズ 寒川の先人たち(6)
 寒川出身の力士—君ヶ浜 椿田有希子
 第7回企画展「寒川村ができたこ
 ろ—120年前の世界—」／収蔵庫
 の資料から(4)／文書館 最近
 のできごと

◆市史研究 横須賀
 横須賀市総務部総務課
 〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
 TEL046-822-8150 2002年創刊
 ◇9 2010.3 A5 153p
 長沢にみるハマとオカの暮らし 宮本八恵子
 天保社参をめぐる地域の動向
 —相州三浦郡の事例から 椿田有希子
 横須賀市民の戦前戦後—「合衆国
 戦略爆撃調査団報告書 USSBS」
 の尋問記録から 高村 聰史
 横須賀製鉄所創始期における機械
 類購入の経緯 安池 尋幸
 三浦道寸書写の「古今和歌集」写
 本について 真鍋 淳哉
 下町の洋装店にみる戦後の横須賀

女性ファッション史—ピンク洋
 装店での聞き取り調査と広告資
 料をもとに 宮本八恵子

◆湘南考古学同好会々報
 〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
 19-104 寺田兼方方
 ◇118 2010.2 B5 28p
 「第27回藤沢市遺跡発表会」に当
 たって 寺田 兼方
 藤沢市西部209地点(Na146)遺跡及
 び大庭城跡(Na211)遺跡 杉本靖子／中島大輔
 善行(Na93)遺跡 碓井 三子
 若尾山(Na36)遺跡 長澤 保崇
 天神添北(Na122)遺跡・渋谷城跡(Na
 390)遺跡第5・6次調査 千田 利明
 今田広町(Na106)遺跡 井辺 一穂
 東海道藤沢宿遺跡第6次地点 宮田 眞
 北部第二(三地区)土地区画整理事
 業区域内遺跡群 下土棚大下地
 区第1地点(2) 小林 晴生
 「藤沢市遺跡発表会」の発表遺跡
 一覧（第11回～第26回の遺跡発
 表会）

◆扣之帳 扣之帳刊行会
 〒250-0021神奈川県小田原市早川60
 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円
 ◇27 2010.3 A5 116p 500円
 わが郷愁の里神楽師たち—消え去
 った神楽曲の余韻を追って 田代 道彌
 大久保公の築堤と生活を護り育て
 た人びと—酒匂川治水四百年に
 学ぶ 内田 清
 大久保忠隣公顕彰碑
 延岡城と国姫 今川 徳子
 二宮尊徳についての歴史家による

評価 尾上 武
 二葉亭と大田黒 岸 達志
 酒匂だより 町田紀美子
 ボクの映画館(7)
 西部劇！西部劇！ 平倉 正
 「幽霊部隊」からの生還 加藤 利之
 オウ播磨、オウ三元—播磨晃一君
 を偲ぶ 三元 宏道
 播磨晃一氏年譜
 川崎長太郎の俳句
 —散歩から生まれた俳句 佐宗 欣二
 相模周辺に廃仏毀釈の痕跡を探る
 (1) 大山石尊大権現とその近
 隣 平賀 康雄
 自由律俳句入門講座(3) 光って
 いる句はどこでも光っている 井上 敬雄
 始まりの人 茂木 光春
 亀右衛門咄(4) ふと出者たち 青木 良一
 近代神奈川の書籍文化(3)
 大野源蔵・貞造のこと 高野 肇

◆民具マンスリー
 神奈川大学日本常民文化研究所
 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 TEL045-481-5661 年3500円
 ◇503 (42-11) 2010.2 A5 24p 350円
 鹿児島島の錫器製造 吉田 晶子
 昭和20年代の藁草履再現—勝浦市
 法花地区在住の篤農家の御教示
 により 立花 弥生
 民具短信 撚り族器について 加藤 隆志
 アチック・ミュージアムの民具コ
 レクション(26) 柳田國男が収
 集した七夕人形 鈴木 通大
 ◇504 (42-12) 2010.3 A5 24p 350円
 特許資料を通して見た富山県砺波
 地方の改良双用犁開発 沼田 宗敏
 新出の「山城國乙訓郡農具器械書」

について 伊藤 廣之
第42巻総目次／日本常民文化研究
所2009年度活動報告より

◆大和市史研究

大和市役所文化スポーツ部文化推進課
〒242-0001神奈川県大和市下鶴間1-1-1
TEL046-260-5336 1975年創刊

◇35 2010.3 A5 174p

新出深見村坂本家文書について 神崎 彰利
人々の異文化体験

—「西遊日記」解説 山崎 祐子
「西遊日記」解説

決算書から見た戦時下町村—大和
村(町)・渋谷村(町)・北秦野村
の場合 古野 恭代
聞き書き 子供のころの暮らしと
自動車屋の思い出 井上 芳篤

◆悠 久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315

◇119 2010.3 A5 172p 680円

《特集 北海道の拓殖と社》
口絵 拓殖期北海道の社
エッセイ 心の故郷—自然 秋山 駿
北海道の神社創建と展開
—「神社明細帳」を通して 茂木 栄
開拓使と北海道神宮の創祀 吉田 源彦
北海道の集落小祠—「北海道神社
庁誌」の未公認社を中心にして

前田 孝和
開拓村と切株・棒杭神社 村田 文江
北海道への稲荷勧請—伏見稲荷大
社からの分霊を中心として 青木 伸剛
幕末期のまつりに見るアイヌと和
人の交流 池田 貴夫

小論文

北方領土の神社 前田 康
「義経神社」の創祠について 北嶋 義三
創造される伝統—北海道文化研
究への提言 馬淵 悟
コラム 御祭神の撰び方 山田 一孝
コラム 北海道の菅江真澄 松山 修
八幡宮紹介 小野八幡神社(兵庫
県神戸市中央区)

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/

◇375 2010.2 A5 32p

越後の神事相撲習俗 広井 忠男
「王昭君図」と大スリコギ—山形
県鶴岡市の善宝寺における出会
い 佐藤 和彦
野兎のメダマにまつわる民俗(1) 天野 武
小報告 瞽女を迎える郷—旧和島
村上桐 柄澤 衛
「越後名寄」の酒屋記事 鶴巻 武則
書籍紹介 『縮問屋 加賀屋の世界』
高橋由美子

◆佐渡学センターだより

〒952-0021新潟県佐渡市秋津1596
両津郷土博物館内 TEL0259-23-2100
www.city.sado.niigata.jp/sadobunka/denbun/

◇1 2010.2 A4 4p

ごあいさつ 石瀬 佳弘
写真だより 神子岩
両津郷土博物館の紹介 須藤 洋行
新収蔵資料紹介 野口 敏樹
文化財散歩
新穂地区潟上牛尾神社

◆年報 新発田学 敬和学園大学

〒957-8585新潟県新発田市富塚1270
TEL0254-26-3636

◇1 2010.3 B5 121p

新発田学研究センター年報の発刊
に寄せて 鈴木 佳秀
新発田学研究センターの歩み 神田より子
十二斎市復活の写真／しだれ桜の
写真／「まちカフェ Link」の
活動写真／「阿賀北ロマン賞」
ポスター写真

〈第1回「阿賀北ロマン賞」受賞作品〉

「阿賀北ロマン賞」について／第1
回「阿賀北ロマン賞」大賞受賞
作選評

小説部門 一般・大学生の部大賞
姉とみたオリオン 杉原 泰洋

小説部門 高校生の部大賞
星たちのカリオン 西村 優輝

随筆部門 大賞
二王子岳と仲間達 石田 瑞穂

創作童話・児童文学部門
大賞 ひろくんの宝もの いうらなおこ

創作童話・児童文学部門 優秀賞
阿賀野川幻想 海渡 夕姫

きらきら川のものがたり もりいずみ
新発田朝市「十二斎市」を立ち上



げて 神田より子
新発田十二斎市の成立と展開(1) 鈴木 秋彦
街づくりと起業、学生たちの挑戦

—「まちカフェ Link」の活動
記録 吉田健太郎

塩津湯が復活した要因(1)
—古絵図に視点を当てて 伊藤 國夫

城下町新発田—「観光まちづくり」
で賑わいのある街に 若林 利次

聖籠町 二宮家資料調査点描 岸 昌一

＊新潟県新発田市にある敬和学園大学は、リ
ベラル・アーツ教育による国際的教養人の育
成に力をいれているが、2006年の夏に、新発
田市と新発田商工会議所から、商店街の空き
店舗利用について打診を受けたことを契機に、
地域に知的貢献をすることを目的として、同
年11月、新発田学研究センターを設立した。
その対象とする地域は行政区画ではなく、旧
新発田藩領地を中心とした生活圏、文化的境
界を想定している。活動内容は、発足の経緯
から、商店街活性化事業、研究事業、教育事
業を中心とするが、新発田とその周辺の歴史
や文化を知る資料の収集も行っている。

創刊号でも、二宮家の古文書調査の概要と
目録を掲載する。また、食文化と地域活性化
をテーマとする講演会なども行っている。商
店街活性化事業には学生も積極的に参加して
おり、地域に根ざした大学の社会貢献のモデ
ルを築いていくことを期待したい。

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11
(財)高岡市民文化振興事業団
TEL0766-44-5511 1991年創刊
www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/

◇20 2010.3 A5 96p

万葉集巻六編纂に関わる山部赤人
歌の問題 村瀬 憲夫

越中国守大伴家持 多田 一臣
 万葉集におけるよろこびの恋歌—
 志貴皇子五一三番歌の表現をめ
 ぐって 田中夏陽子
 万葉集に見えるホクについて 関 隆司
 反歌附加の試み
 一卷十三異伝歌群の背景 垣見 修司
 越路には折りし梅こそ花咲きにけ
 れ—『萬葉集』伝来をめぐる臆
 見・余滴 新谷 秀夫

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 TEL076-262-3236 1986年創刊
 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
 ◇94 2010.2 A4 6p
 企画展「れきはくコレクション
 2009」
 貸出中の館蔵品／催事日録／れき
 はくトリヴィア シンボルマー
 ク秘話

◆能登のくに 能登を知る会
 〒927-1214石川県珠洲市飯田町14-71
 西山郷史方 TEL0768-82-0297 年1000円
 ◇2 2010.2 B5 4p
 嶽薬師と能登の薬師信仰
 レジメと解説
 ◇3 2010.2 B5 8p
 比良出土の御物石器について 谷内尾晋司
 諸橋三十三観音順札所と御詠歌
 ◇4 2010.2 B5 4p
 上田寺から山道に移された板碑
 姿をあらわした阿部判官
 ◇5 2010.2 B5 4p
 「季刊 能登」(株式会社金沢広告
 刊)総目次 II-I
 ◇6 2010.2 B5 8p

「季刊 能登」(株式会社金沢広告
 刊)総目次 II-II
 ◇7 2010.2 B5 8p
 「季刊 能登」(株式会社金沢広告
 刊)執筆者別タイトル

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
 〒918-8113福井県福井市下馬町51-11 福井
 県立図書館内 TEL0776-33-8860 年3500円
 ◇54-2 2010.3 B5 42p
 近世越前における越前岬以北のし
 いら漬漁場争いについて 岡田 健彦
 ‘The Recent Revolutions in Japan’
 再考 山下 英一
 若狭内外海半島の巫女祭文資料 金田 久璋
 大野晋先生追慕
 —あつい学恩を感謝して 永江 秀雄
 書評 山下英一著『グリフィス福
 井書簡—Grifis' Fukui Letters—』
 高木 不二

◆MARUBI
 富士吉田市歴史民俗博物館だより
 〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1
 TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp
 ◇34 2010.3 A4 8p
 富士吉田あれこれ
 上吉田宿の成立 布施 光敏
 博物館Report
 レポート 新収蔵 武田信玄の
 願文について 堀内 亨
 笛吹市芦川村のカラサンについ
 て—聞き取り調査報告 高橋 晶子
 上幕地新屋敷遺跡発掘調査概報
 (後) 篠原 武

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 TEL

0265-53-4670 www.city.iida.nagano.jp/iuhr/
 ◇44 2010.2 A4 4p
 大宮諏訪神社の歴史
 中学生や高校生の教科書に『史
 料で読む飯田・下伊那の歴史1
 松尾大森本の家と周辺社会』を
 読んで 森本 信正
 飯田アカデミア2010／歴史研究
 助成報告会を開催します／出前
 講座—町家建築を学ぶ
 市民の声 平岡ダムとの出会い 原 英章
 歴研賞講評(著書部門)特別賞 田
 中雅孝『両大戦間期の組合製糸』
 上山 和雄

◆伊那 伊那史学会
 〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
 TEL0265-22-6017 年5500円
 ◇981 (58-2) 2010.2 A5 50p 500円
 口絵 知久町一丁目の本屋台 櫻井 弘人
 本願寺門流高弟寂円と善教は飯田
 伊賀良の人 神村 透
 小字名から探る五輪塔の存在 岡田 正彦
 「あきはみち」に寄せる人々の心
 (23) 大原千和喜
 中世、橋北城の幻影を追う(7) 稲井 遥
 大久保小学校の思い出 松尾ちゑ子
 下伊那日録(2007年1月) 寺田 一雄
 ◇982 (58-3) 2010.3 A5 66p 600円
 《御柱祭特集》
 口絵 主な神社の御柱祭
 諏訪大社と御柱祭 山内 尚巳
 飯田・下伊那の御柱祭 建御名方
 命を祀る神社／御柱祭を実施す
 る神社／御柱祭あれこれ
 原田望／山内尚巳
 各神社の御柱祭
 松川町 御射山神社／諏訪形神

社／鶴部神社／関宮神社／神
 護原神社 編集部
 高森町 萩山神社／牛牧神社 橋都 正
 飯田市 麻績神社／飯沼諏訪神
 社／代田下ノ宮諏訪神社／山
 本七久里神社／竹佐伊奈神社
 ／立石日枝神社／知久平諏訪
 神社／小野子諏訪神社／野池
 神社／柏原明神社／法全寺関
 口家諏訪大明神／尾科諏訪神
 社／程野正八幡宮／和田諏訪
 神社 今村善興／代田一行／平澤昭
 ／山内尚巳／市村富男／塩澤
 正夫／知久一彦／北沢克己／
 萩元育夫／吉澤建／針間道夫
 阿智村 河内諏訪神社／寺尾秋
 葉社／神坂神社／春日神社／
 市の沢諏訪神社 佐々木賢実
 平谷村 諏訪神社 西川 人司
 根羽村 月瀬神社／黒地若宮社
 片桐 亀十
 大鹿村 大磯神社／野々宮神社
 ／市場神社／葦原神社 北村 尚幸
 喬木村 阿島北明神社 仲田 芳幸
 豊丘村 過去の御柱祭・雞鎌
 壬生守／豊丘村誌

◆伊那路 上伊那郷土研究会
 〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
 TEL0265-78-6719 年5000円
 ◇637 (54-2) 2010.2 A5 40p 500円
 《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》
 箕輪町竜東地区東山山麓歴史の道
 小口 恵子
 天竜川におけるサギ・カモ類の個
 体数変動 小林 高志
 無量寺本堂前庭石仏群(1) 竹入 弘元
 「第十回上伊那郷土研究交流の集

い」報告 山口 通之
 参加することが学ぶこと 岡 久幸
 先進的な「ふる里からの出発」
 ー東山の掘り起こし 唐木 達雄
 「第十回上伊那郷土研究交流の集
 い」に参加して 小田切英雄
 短歌 いろはにほへど(1) 野溝 直人
 養蚕かるた(3) 山本 勝
 文化短信
 旧刊紹介『伊那路』創刊号 清水 満
 古文書の窓(93)
 天竜川通船の認可願届 酒井 巖
 師匠の背中(2)より(17) 小正月 若林 徹男
 ◇638 (54-3) 2010.3 A5 40p 500円
 ある日露戦争出征兵士の生涯 伊藤 修
 無量寺本堂前庭石仏群(2) 竹入 弘元
 年季明けて念願の独立開業
 ーある鍛冶職人の場合 山岸 貢
 思い出の人・思い出の事(1)
 佐藤雪洞先生(日本画家) 桃澤 匡行
 伊那谷のヤマセミー民俗の窓を通
 して(7) 吉田 保晴
 上伊那の野外彫刻(70)
 めいすい(駒ヶ根高原美術館) 吉澤 正昭
 文化短信 現れた文化財、消え去
 る文化財 伊藤 修
 考古あれこれ(5)
 謎の地下室発見余話 赤羽 義洋
 師匠の背中(2)より(18)
 豆まき(節分) 若林 徹男
 ◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
 年3000円
 ◇80 2010.3 B5 12p
 民俗学の座標ー所報80号に寄せて
 野本 寛一

遠山谷の炭焼 寺田 一雄
 伊那谷の御柱祭とその起源 今井 啓
 下栗での民俗調査から(上) 浮葉 正親
 柳田国男研究
 『野草雑記』と柳田国男の書簡 高橋 寛治
 伊那近代思想史研究会(28)「不
 可解となり」という森本州平の
 悩みー1929(昭和4)年末 松上 清志
 ◆市誌研究ながの 長野市公文書館
 〒380-0801長野市箱清水1-3-8
 長野市城山分室内 総務部庶務課
 TEL026-232-8050 1994年創刊
 ◇17 2010.2 A4 168p
 はじめに 鷺澤 正一
 長野市公文書館開館二周年記念講
 演 真田幸貫と松代藩ー藩祖顕
 彰と軍制改革を中心に 松田 之利
 十念寺の謎ときー再建名号碑と誕
 生寺二十二世正道をめぐって 袖山 榮眞
 水内郡長沼城の再検討
 ー城郭構造を中心として 河西 克造
 貞享四年卯六月六日 七月・八
 月・九月・十月「江戸日記」の
 紹介 吉田古文書研究会
 千曲川中流域における近世末期の
 治水事業 滝澤 公男
 研究ノート 天明三年浅間大焼け
 ・凶作と松代藩の対応 大塚 尚三
 佐久間象山の漢詩(2) 佐久間方三
 弘化四年三月廿五日より五月五日
 至「御役用日記」の紹介
 長野西高校古文書同好会
 「新馬喰町日記」にみる人びとの
 暮らし 関 保男
 松堂丸山弁三郎の人と業績 高木 寛
 長野市の桜 落合 照雄
 長野市公文書館のあゆみ

◆信 濃 信濃史学会
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.com
 ◇721 (62-2) 2010.2 A5 82p 900円
 語られた満州分村移民、描かれた
 大日向村、満州 伊藤 純郎
 近世後期小農の二男三男をめぐる
 家督継承戦略と他国稼ぎ 加納亜由子
 故小穴芳実先生の歴史研究ー文献
 以外の資料を駆使しての地方史
 研究を中心に 武田 安弘
 里地・里山の江戸時代(下)ー松本
 平(盆地)とそれを取り巻く山々
 田中 薫
 新刊紹介
 平山優・丸島和洋編『戦国大名
 武田氏の権力と支配』 村石 正行
 北安曇誌編纂委員会編『北安曇
 誌』第二巻 原始・古代・中
 世編 井口 博文
 シンポジウム報告「地域史交流
 の交流と未来」に参加して 山浦 寿
 ◇722 (62-3) 2010.3 A5 80p 900円
 豊臣政権下の信濃検地と石高制 鈴木 将典
 温泉の発展と湯仲間ー近世後期信
 州高井郡野沢村の例 湯本 巖
 上田藩主松平忠済の手紙
 ーおのおの召し出し一件 小宮山千佐
 紀元前四世紀の記紀神話
 ー吉武高木遺跡を読む 柳沢 賢次
 資料紹介 日中戦争中の出征兵士
 と軍事郵便ー木曾旧日義村役場
 兵事資料より(上) 神村 透
 セミナー報告
 信濃史学会第94回セミナー 小野 和英

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
 〒386-0024長野県上田市大手2-7-13 上小
 教育会館内 TEL0268-24-2182 年3000円
 ◇143 2010.2 A5 72p
 神科台地の用水堰 川上 元
 稲荷山の水利 宮澤 芳己
 御影用水の開さくー慶安3年(1650)
 開発人 柏木小右衛門 柏木 易之
 青木村の史料からみる近世後期の
 塩ノ入池 橋詰 文彦
 自由民権運動と青木濱之助の軌跡
 ー保安条例事件顛末の絵巻を中
 心に 土屋 長久
 小泉小太郎と畠山重忠 柳沢 賢次
 郷土の歴史を学びたい丸子地域の
 豆研究者の皆さんへ 窓(2)「塩
 川下堰」を調べてみよう 桜井 松夫
 連載講座
 古文書解説講座 第136回 宮原 英夫
 総会報告 事務局
 ◆長 野 長野郷土史研究会
 〒380-0905長野市七瀬南部14-7
 TEL026-224-2673 年3000円
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇269 2010.2 A5 112p 700円
 《小林計一郎初代会長追悼特集》
 主要著書目録・略歴
 弔 辞 小出 章
 弔 辞 金子 清
 弔 辞 中島 宏
 偉大な在野の歴史学者であった小
 林計一郎先生 市川 健夫
 非凡な教育者 滝澤 貞夫
 長野高専教授の頃 二澤 久昭
 恬淡と信念と 矢羽 勝幸
 追悼 小林計一郎先生 林 雅彦
 思い出のあれこれ 塚田 佐

福祿寿と出世大仏	袖山 榮眞
小林計一郎先生に送る	山口 純一
小松田紋太(コマッタモンダ)さん	
	立岡 和子
小林先生の思い出	山崎 良子
小林計一郎先生の歴史精神	宮下 健司
小林先生と県立図書館—古文書収	
集の業績等について	松橋 好文
小林計一郎先生と牟礼・三水	矢野 恒雄
人生は出会いの旅である	岡澤 由往
追悼 小林計一郎先生	関 保男
小林計一郎先生を偲んで	鬼頭 康之
郷土誌『長野』を創刊、発展させ	
た小林計一郎先生の業績と理念	
	楯 英雄
先生との出会い（下宿から税務相	
談まで）	外谷 水城
軽妙洒落な師	鈴木 清
小林計一郎先生を偲んで	北村 市朗
「歴史を知り、学び、残す」のお	
教えを載いて	穂刈 聡
数人分の仕事をされた小林計一郎	
先生—千曲市桑原区象山筆幟の	
調査	堀内 暉巳
夫婦で郷土史	竹内今朝美
思い出づるまに	田辺 吟子
史跡めぐりの思い出	小林マサ子
自伝の傑作「信濃の春秋」	徳竹 康彰
小林先生のご逝去を悼む	山田 昭雄
小林計一郎先生をしのんで	金子 清
小林計一郎先生追悼	小出 章
初代会長小林計一郎先生の思い出	
	北村 俊治
思い出す事	金子 俊司
古文書解説の教え	戸田 利房
歴史〈郷土史〉を学ぶ	長田 元水
古文書塾の事等々	横田 利子
小林計一郎前会長を追悼して	伊藤 勉

古文書塾入門記	青山 始義
思い出さまざま	倉石 方正
郷土史は住民自治の原点	小山 敏明
小林先生を偲んで	佐藤 政世
高校から先生との係わり	高野 節子
“教養がとっても身に付く”	高原 英男
郷土史の大切な面白さを教えて頂	
く	寺澤 豊治
敬意と感謝と	中村 公夫
『善光寺さん』	荻野 祐
小林計一郎先生をお偲びして	松岡昭三郎
小林先生を想う	松本 元重
小林計一郎前会長先生の思い出	宮崎 秀夫
故小林計一郎氏を偲んで	八木 輝夫
先生の御言葉	矢向 忠雄
弔 電	北澤剛／大橋正章
信越国境の義仲伝説と古代の道	青山 始義



＊昨年11月に90歳で逝去された長野郷土史研究会初代会長の小林計一郎氏は、郷土史研究のリーダーとして、数ある全国の郷土史研究会の中でも、飛びぬけて傑出した人物であったと言っても過言ではなく、その多大な功績はわずかなスペースではとうてい語り尽せるものではない。大正8年に長野市に生まれ、長野中学(現長野高校)から神宮皇學館(現皇學館大学)に進み、兵役を経て長野市内の高校教諭、国立長野高専教授、信州短大教授な

どを務めた。長野郷土史研究会を設立したのは、昭和36年のことであるが、類稀なリーダーシップと教育力で、60年代には4000名を超える、恐らく全国で最大規模の会員数を擁する郷土史研究会に育て上げた。39年に創刊した機関誌「長野」も隔月刊行を維持し、270号を数えるまでになっている。

同氏の教育力を示す象徴的な事柄の一つに、「長野」に連載した古文書クイズと、長年開催した古文書塾を上げることができる。クイズでは、毎号身近な文書の中から一部分を設問とし、次号で懇切な解説を行うと共に、三段階の成績をつけて応募者の氏名を掲載して学習の意欲を盛り立て、塾と合わせて、古文書を解説できる多くの市民を育てた。また研究業績では、永年論争のあった佐久間「象山」の呼称に学問的に結着をつけたことや、33年の『善光寺と長野の歴史』から平成14年の『一茶—その生涯と文学』まで、25冊余の著書に集約されているが、膨大な著述の中にはまだ活性化されていないものがあり、それらは「長野」に順次掲載していくとのである。心からご冥福をお祈りする次第である。

◆長野県民俗の会通信

〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方
TEL0263-50-9911 年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/

◇216 2010.3 B5 8p
古峯信仰の流行について 木下 守
松本市島内青島の藤(富士)塚につ
いて 小原 稔
第169回例会のこと 中村 慎吾
第170回例会のご案内 事務局

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

松本市総務部行政管理課松本市文書館
〒390-1242長野県松本市和田1058-2

TEL026-347-0040 1991年創刊

◇20 2010.3 B5 153p
刊行にあたって 菅谷 昭
講演 中馬稼ぎの東進 増田 廣實
学習・桜ヶ丘古墳 桐原 健
『物くさ太郎』の成立背景—同時
代の類似作品との関係から 浜野 安則
江戸時代の村や町の医療事情
—松本平を中心として 田中 薫
新松本市域の人口の特性(3)—松
本市奈川・安曇地区の人口の変
動 藤森 喜雄
松本商工会議所100年のあゆみ 小松 芳郎
平成21年度松本市文書館の事業

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TEL0538
-32-3546 www4.tokai.or.jp/child-c.j/

◇33 2010.2 A4 4p
大井川筋のひよんどり(2)
大尾山・地名の縁日 吉川 祐子
◇34 2010.3 A4 4p
祭りと観光 初島鹿島踊 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
情報学部 荒川章二研究室内 年4000円

◇377 2010.2 B5 4p 200円
2月例会レジュメ
政権交代と日本の税制 安藤 実
2009年12月例会報告 鈴木 雅子
書籍紹介
『浜松の戦争遺跡を探る』(2) 川上 努
本の紹介
藤野豊『戦争とハンセン病』
◇378 2010.3 B5 4p 200円
3月例会レジュメ

まちづくり再考—創造的自治に
基づく協働のまちづくりを目
指して 小泉 雄基
軍装から考察する十五年戦争 山岸 史弥
1月例会報告 『静岡県史』通史編
6(戦後史部分)に学ぶ—時代区
分と視点を中心に 橋本 誠一

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会
〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659
◇127 2010.3 B5 16p
ゆったりとしたお船神事の祝祭に
心なごむ 日帰り史跡見学会
榛南歴史散歩 11月8日(日) 大川 誠一
第86回研究会 篠原旭氏の「海野
晋吉」の概要／望月茂氏の「古
墳時代の馬匹文化の一考察」の
概要／堀川幸美氏の「中世内田
氏の移動から地名苗字を考え
る」の概要
第87回研究会 田中春二氏の「三
角形の意味するもの」の概要／
岡野勉氏の「昭和戦時期におけ
る静岡郷土部隊の展開」の概要
／鶴藤満夫氏の「大東亜戦争中
に於ける道路改良(遠州地方)」
の概要

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部
〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
◇454 2010.2 B5 4p
続・人車鉄道 1896(明治29)年／
下田港の浚渫工事 1884年
明治初期・伊豆の灯台設置につい
て／神子元島灯台／灯台四方山
話 明治時代
◇455 2010.2 B5 4p

1914(大正3)年 汽船愛鷹丸遭難
事件 資料提供 田口宣さん／
叙事詩 愛鷹丸
伊東群発地震のお見舞い有り難う
御座いました
資料 1893(明治26)年 伊豆宇佐
美村移出入「村勢要覧」から当
時を見ると
◇456 2010.3 B5 4p
続 1893(明治26)年 伊豆国賀茂
郡宇佐美村移出「村勢要覧」か
ら見る／同年、宇佐美村移入「村
勢要覧」から見る
◇457 2010.3 B5 4p
1921(大正9)年 熱海線 国府津
～小田原間開通祝賀会 伊豆の
飛躍的發展に曙光
1882(明治15)年12月 静岡県議会
混乱 伊豆無関係四大河川に県
税を注入(明治15年12月26日
朝野新聞)／1922(大正11)年
狩野川改修促進を流域住民決議
して静岡県庁へ(大正11年3月23
日 静岡民友新聞より)／1922
(大正11)年 狩野川改修は死活
問題と静岡県庁へ陳情する(大
正11年3月24日 静岡民友新聞
より)

◆郷土文化 名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館
TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊
◇212 (64-2) 2010.2 A5 104p 1500円
追悼文 小宮山先生を送る 日比野 進
図絵に見る尾張の街道風景(5) 櫻井 芳昭
大須一帯の歴史 大野 哲夫
味噌山香積院・般若台考(2)—愛

知県における菅江真澄研究(1) 宮澤 和夫
明治初期の県と村点描(3) 中村 保夫
翻刻 『貸本書肆大惣江口家内
年鑑』 長友千代治
資料紹介 当山派修験愛行院文書
について(2) 石黒 智教
「織田信長の統治権の支配権—室
町幕府と織田政権」(64巻1号)
における正誤表 小林 正信

◆新修名古屋市史だより
新修名古屋市史編さん事務局
〒461-0011名古屋市中東区白壁1-3
名古屋市市政資料館 TEL052-953-0051
1992年創刊
◇28 2010.3 A4 16p
《市政資料館開館20周年記念特集》
歴史資料の保存と公開—名古屋市
史刊行完成後の課題 塩澤 君夫
地域探検隊 河村たかし
市政資料館20周年記念事業 “今、
古に想いを馳せる”「秘蔵! 名
古屋開府三百年祈念祭—世紀を
超えて蘇る女神の微笑み—」
公文書等の公開について
資料編「近世2」刊行にあたって 林 董一

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇546 (50-2) 2010.2 B5 8p 600円
埼玉・久那の獅子舞 石川 博司
山野ノ楽 香月 靖晴
新国指定・登録・選択の民俗文化
財—平成22年1月15日文化審議
会答申

◆史料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462
◇225 2010.2 B5 14p 200円
東海道古瓦の系譜(6)—相模 稲垣 晋也
志摩市市政五周年記念「志摩のあ
けぼの展—考古資料からみた志
摩の歴史」の開催

近畿

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100
www.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇88 2010.3 A4 4p
テーマ展 井伊家伝来・能の小道
具／デマ展 国宝・彦根図屏
風／テーマ展 鬼神と霊—能に
みる異界
金亀玉鶴 彦根藩足輕組辻番所に
関する史料 渡辺 恒一
寄贈の資料

◆民俗文化 滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円
◇557 2010.2 B5 12p 420円
島国で生きる日本人—時の権力者
に従順な民族性 菅沼晃次郎
昔話「産神問答」と樟 北野 晃
御用廻状扣に見る徳川幕府終焉の
諸相(前) 中村 武三
長浜市大依町の前方後円墳二基に
ついて 長谷川博美
奥琵琶湖周辺の伝承(8)—今庄、
黒滝の碑と母子草 馬場杉右衛門
近江と柳田民俗学(5)
—小野お通と大井城 馬場杉右衛門

「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に一回想記(12) 奥山 芳夫
◇558 2010.3 B5 12p 400円
だれか「共同新聞」を知らないか 吉岡 郁夫
御用廻状扣に見る徳川幕府終焉の
諸相(後) 中村 武三
近江と柳田民俗学(6)
—ダイダラ坊と秦氏の残影 馬場杉右衛門
奥琵琶湖周辺の伝承(9)
—幻の勢江線と琵琶湖哀歌 馬場杉右衛門
明智光秀伝説の中世城郭発見
—犬上郡多賀町佐目 長谷川博美
ちり紙(塵紙)について 粕渕 宏昭
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に一回想記(13) 奥山 芳夫
世のたわごと 田中 春二

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071京都府乙訓郡大山崎町大山崎字
竜光3 TEL075-952-6288 1995年創刊
◇16 2010.3 A4 32p
調査・研究報告編(18) 小企画展
「瀬戸内海をゆく油売り」の展
示史料について 福島 克彦

◆京都市政史編さん通信

京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
TEL075-241-4312 city.kYoto.jp/somu/rekishi/
◇37 2010.3 A4 8p
片岡直温と京都(2) 奈良岡聡智
『京都市政史 第1巻 市政の形成』
を拝読して 山本 篤史

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743 年4000円

www.geocities.jp/kodaishinoumi2005/

◇59 2010.3 A5 104p 1500円

巻頭言
神話的歴史と考古学の現実 半沢 英一
2009年・古代史総括 森岡 秀人
会員ひろば
「橘」という勢力 渡部 正路
アンデス通信(12) 市木 尚利
天草の石棚を持つ古墳 重村 英雄
曹操墓の発見 宝賀 寿男
纏向の王と兵主神 山口 順久
「かすが」の語源と春日と書く理由 岩尾 守久

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円

◇802 (80-2) 2010.2 A5 34p 915円
難波津小考(下) 田寺 英治
鰐口の銘文(11) 愛甲 昇寛
鬼瓦百選(81) 小林 章男
第942回例会 西濃・尾張の仏像
・石造を訪ねて 岩崎 幸一
第32回総会報告

◇803 (80-3) 2010.3 A5 32p 915円
黄檗信仰史(76) 江口 正尊
鬼瓦百選(82) 小林 章男
江戸明治の文書に記された宮城県
の懸仏 石黒伸一郎
第943回例会 東福寺 加藤 繁生

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田12-
46 網本逸雄方 TEL075-933-5667 年3000
円 www.geocities.jp/Kyotochimei/

◇32 2010.3 A4 8p

第26回京都地名フォーラム報告

京丹後市旧3郡の郡名について
(水野孝典)／考古学から見た
丹後王国(三浦到)／籠神社の
籠について(黄當時)
地名随想
『今昔物語集』に見える平安京
の地点の座標表示について 梅谷 繁樹
一筆あれこれ 吉田 金彦
第9回京都地名シンポジウム／催
しもの案内／第29回全国地名研
究者大会案内

◆鉄砲史研究 鉄砲史研究会

〒607-8345京都市山科区西野離宮町2-1
山科南団地E棟213 岡崎清方
TEL075-594-3145 年10000円

◇364 2009.11 A4 77p 2500円
幕末欧米派遣視察団の見た鉄砲
(製造・装備・訓練)—万延元年
の遣米使節と文久元年の遣欧使
節 室賀 修
日米鉄砲規制の歴史的・社会的背
景 須川 薫雄
火薬技術者 南坊平造氏 中原 正二
開国後、我が国初のライフル射撃
大会とその使用銃について 霜 礼次郎
明治21年 我が国初めての放鳥射
撃大会について 霜 礼次郎
会員情報 お詫びとお知らせ 富原 道晴
松井文庫の大砲 増田安治郎作 峯田 元治

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇266 2010.2 B5 12p
佐野と井原(上) 井田 寿邦
松浦周防守盛の発見 廣田 浩治
大衆劇場ねごろ座 北山 理

◇267 2010.3 B5 14p

宮座と女性—泉南の事例をもとに
研究ノートとして 松本 紀郎
佐野と井原(中) 井田 寿邦
大宮神社創祀の背景(2) 上田 繁之

◆大阪歴史懇談会会報

〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号
FAX0724-38-4487 年5000円
www.homepage2.nifty.com/rekikon/

◇306 (27-2) 2010.2 B5 12p

巻頭言 古文書と歴史 磯崎 素子
1月例会報告(第281回)「大阪出土
の豊臣家の陶磁器」松尾信裕氏
／古文書講座(第120回)「御米
と米」石川道子氏
見学会報告「椿の本陣」とその
周辺探訪／田原本陣屋跡界隈を
訪ねて／平野郷を訪ねて 稲垣 隆造
予科練「海軍甲種飛行予科練生」
の体験者に聴く 松坂 定徳
鬼瓦の話 西村 彦次
見学会こぼれ話(14) 源氏物語千
年紀 春の見学おさそい「格差
社会が源氏物語を有名にした」稲垣 隆造

◇307 (27-3) 2010.3 B5 12p

巻頭言 古文書と歴史(2) 磯崎 素子
2月例会報告(第282回)「古代難波
宮と中国の都城」村元健一氏／
講演ビデオ鑑賞「映像の二十一
世紀」—大阪府・政治経済—他

小池栄之輔
千葉周作の出身地と名刀の謎 松坂 定徳
京都の大名墓について(1) 田村 紘一
見学会こぼれ話(15) 源氏物語千
年紀「一条通りは曲がってい
た？」 稲垣 隆造

◆河童通心 和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円
◇316 2010.3 A5 14p
海人と河童 和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円
◇723 2010.2 A4 8p 300円
甲賀の古社寺 関根 俊一
淡輪の古墳—その被葬者像 水野 正好
◇724 2010.3 A4 8p 300円
壬申乱を走る(2)—隠から朝明へ 猪熊 兼勝
天誅組の足跡を追う
—河内から五条へ 来村多加史

◆近畿民俗通信 近畿民俗学会
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
原泰根方 TEL06-6709-8533
◇3 2010.3 A4 4p
近畿民俗学会第39回年次研究大会
佐島 隆
村と農協 柳田洋一郎
祭り・行事・展覧会

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishu/
◇265 2010.2 B5 12p
日本神話の構造と特質 水谷 千秋
泉南歴史探訪—淡輪の古墳群を訪
ねる 今中 典男
塚口先生と行く若狭・丹後・但馬
の古代史を探る旅(3) 古高 邦子
大極殿の大屋根に金色に輝く、鴟

尾と「大棟中央飾り」 阪口 孝男
◇266 2010.3 B5 14p
五世紀のヤマト王権と上毛野—太
田天神山古墳を中心に 白石太一郎
大阪府立桜塚高等学校の堀が国登
録有形文化財に登録されました
古高 邦子
松尾大社、月読神社から蛇塚、蚕
の社へ 小川 滋
豊中歴史同好会の講演会で感動し
た話 阪口 孝男

◆市史研究さんだ
三田市史編さん専門委員会
〒669-1532三田市屋敷町12-27 まちづく
り部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん
担当 TEL079-559-4466 1999年創刊
◇12 2010.3 B5 123p
《考古論考特集》
いわゆる「塩田石」製の石包丁製
作について 岸本 一宏
三田市域出土の石器の石種とその
採石地および土器類の表面にみ
られる砂礫とその採取地につい
て 奥田 尚
神戸層群の凝灰質砂岩を使った三
田市域周辺の古墳について 高島 信之
三田盆地における土器枕の使用例
について 高島 信之
三田市域における後期古墳の動態
について 川口 修実
三田市域の古墳時代後期・終末期
古墳の石室材の石種とその採石
地について 奥田 尚
古代有馬郡の地域区分と氏族への
アプローチ 印藤 昭一
三田市域の山岳寺院遺跡について
山崎 敏昭

出土資料からみる三田焼の様相に
ついて 石神 由貴
三田市域の中・近世の丹波焼につ
いて—中・近世の採集資料から
みた丹波焼生産についての予察
村上 泰樹
文献史料からみた三田市域の近世
丹波焼諸窯の展開—播磨生産の
盛衰を基軸に 印藤 昭一

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要
〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16
総合文化センター7階 TEL06-6482-5246
1971年創刊
www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp
◇109 (39-2) 2010.3 A5 101p 850円
グラビア 出洲の鼻(丸島) 井上眞理子
大尼崎が描かれた鳥瞰図 香山 明子
『神崎工場物語』補遺—戦前の紡
績女子労働者に聞く 三輪 泰史
史料紹介 武者小路実純序「神崎
橋詠草」 日下 幸男
誌上レファレンス 地域研究史料館
〈小特集 自治体史を考える〉
マージナルに立場からみた自治体
史 高田 知和
自治体史を考える—市史をひらき、
史料館にどう 森本 米紀
尼崎関係新着史料・文献・歴史論
文紹介
『地域史研究』第39巻総目次

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇503 2010.2 B5 8p
2月行事案内
おりょうの万葉浴展覧会

三十年に亙る於良展を顧みて 福川 良
澤湯久孝博士と福川良さん
和服一筋 澤湯久孝のこと 澤湯 薫子
伊勢参宮本街道を歩く(40)／平成
版東海道五拾三次 吉井 貞俊
◇504 2010.3 B5 10p
3月行事案内 水軍の裔・九鬼藩
ゆかりの城下町 綾部と三田を
訪ねる
綾部・三田を訪ねる 山下 忠男
えびすの社(11)
本町通り南東から西部のこと 平井 良朋

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中
印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円
◇278 (49-1) 2010.2 A5 49p 600円
《特集 大正期・明石の先進教育の担い手》
及川記念館完成から考える 都倉 功充
持続可能な未来を希求した及川平
治の動的教育 義根 益美
附属の至宝・永良郡事訓導
—その足跡を追って 森本 眞一
旧勝田邸と旧桑田邸の門柱 永田 實
兵庫の戦後モダニズム建築(9)
日本真珠会館 笠原 一人

◆あかい奈良 グループ丹
〒630-8144奈良市東九条町6-4 TEL0742-62-
3408 年2500円 www.akai-nara.net
◇47 2010.3 A4 46p 500円
特集 春日有職の歴史と現在
あをによし奈良の建造物 美の理
由(3) 日本にも中国にもなか
った、大仏様と呼ばれる独特の
建築様式 東大寺南大門(国宝)
鈴木 嘉吉
大和ものまんだら

鈴—アメ屋のナンコウさん 鹿谷 勲
心の風景 はな—氷室社の枝垂れ
井上博道／西村博美
あかい奈良インタビュー
同志社大学教授 辰巳和弘氏
大和彩食館
菊水楼が創る 春の宵御前
奈良の伝統行事 レンズがとらえ
てた大和の祭り 春空に乙女が
舞う「おんだ祭り」
あかい奈良が行く古社寺巡礼
天理市 大和神社
特集 平安遷都千二百年祭と奈良
遷都千二百五十年祭
季の瞬 土匂ふ 矢野建彦／矢野桃苑

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会
〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方 年3000円
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇58 2010.2 A5 82p
紀伊国における名主座について
(上) 蘭部 寿樹
紀州藩牢番頭仲間の方召捕・内
聞御用筋—任命・廃止・復活に
ついて 藤本清二郎
高野山麓の六斎念仏
—その分布と特色を中心に 蘇理 剛志
史料紹介 和歌山城下雑賀屋八之
右衛門家文書—御勝手方御用と
家訓 白井 陽子
書評 高木徳郎著『日本中世地域
環境史の研究』 坂本 亮太
新刊紹介 額田雅裕編著『城下町
の風景—カラーでよむ『紀伊国
名所図会』—』 寺西 貞弘
地方史のひろば
和歌山城の別称について 高橋 克伸

紀州の書肆と出版あれこれ(2)
続近世紀州の「書商」補遺(1)
須山 高明
彙報 和歌山地方史研究会の活動

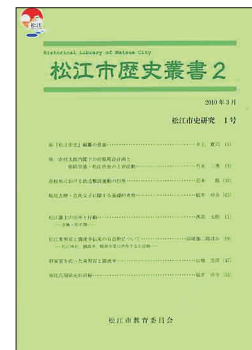
中国・四国

◆鳥取県立公文書館研究紀要
〒680-0017鳥取市尚徳町101
TEL0857-26-8160 2005年創刊
◇6 2010.3 A5 97p
公文書管理と公文書管理法 早川 和宏
石碑は受け継ぐ
—徳は孤ならず、必ず隣あり 安藤 文雄
郷土人材の発掘と道徳への教材化
—上郷村長・山榎友蔵を事例に
田村 昭夫
生田清氏抽出史料を読み直す—
『製鉄関係書翰』に引用された
近藤家文書 山内 美緒

◆北東アジア文化研究
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811 1995年創刊
◇31 2010.3 A5 89p
明治時代の鬱陵島漁業と竹島＝独
島問題(1) 朴 炳涉
韓国絵本『夢見る円(ハングル)』
と『魚と風とピアノ(ハングル)』
にみる絵本表現の可能性 齊木 恭子
中世イタリアの図書館と傭兵隊長
出雲中央図書館収録の民謡録音資
料のこと 酒井 董美
公開研究会「居延漢簡の古文書学
的研究」について 野津 和功
講演要旨
居延漢簡の古文書学的研究 永田 英正

◆米子市史だより 米子市史編さん事務局
〒683-0822鳥取県米子市中町20
TEL0859-22-7208 1995年創刊
◇30 2010.3 A4 12p
『新修米子市史』は米子市民の貴
重な財産 野坂 康夫
新修米子市史編さん収集資料目録
(抜粋)
米子市史完結にあたり 瀧 信雄
文化遺産を作った市史編さん事業

◆松江市史研究 松江市教育委員会
〒690-8540鳥根県松江市末次町86
◇1 2010.3 A4 89+70p 2000円
《松江市歴史叢書2》
新『松江市史』編纂の意義 井上 寛司
第一次桂太郎内閣下の府県廃合計
画と福岡世徳・松江市長の上京
活動 竹永 三男
鳥根県における鉄道敷設運動の出
発 沼本 龍
堀尾吉晴・忠氏父子に関する基礎
的考察 福井 将介
松江藩主の居所と行動
—京極・松平期 西島 太郎
松江東照宮と圓流寺伝来の石造物
について—松江神社、圓流寺、



鰐淵寺等に所在する石造物
岡崎雄二郎／西尾克己／稲田信／椿
真治／木下誠／松尾充晶／高屋茂男
将軍家を祀った東照宮と圓流寺 山根 克彦
堀尾氏関係史料目録 福井 将介
*松江市は、平成19年から松江開府400年を
記念して5カ年計画で「開府400年祭」を実
施しているが、さらに昨年から、近年の歴史
研究の成果に基づき、市民の歴史を学ぶ活動
を支えとして、新「松江市史」の編纂事業に
着手した。新市史は10年間で、史料編11巻、
通史編5巻、別編3巻の全19巻が予定されてい
る。本誌は編纂事業過程で実施する史料調査、
活動、研究成果を報告することを目的に創刊
されたものである。井上寛司編集委員長は、
鳥根県内では自治体史編纂が立ち遅れており、
そのことがもたらす深刻な問題点として、史
料の散失と地域史料分析の困難さ、全国的・
世界的な視野に立った松江市の持つ独自性把
握の困難さ、確かな未来への展望を持った住
民意識の涵養と町づくりの困難さの三点を挙
げている。鳥根県や松江市のみならず、自治
体史を編纂する上で極めて重要な指摘であり、
松江市がどのようにそれを克服し、新市史を
完成させるのか注目して行きたい。

◆岡山藩研究 岡山藩研究会
〒169-0051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学文学部 紙屋研究室内
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/
◇61 2010.3 B5 28p
〈第28回全体会の記録〉
報告要旨 北奥大名の自己認識形
成と修史事業の展開 千葉 一大
討論要旨
参加記
千葉一大氏の報告を聞いて 小川 和也
〈第29回全体会の記録〉

報告要旨 井伊直孝の『譜代矜持』
—慶安2年(1649)の大野主馬一
件をめぐる 堀 智博
討論要旨
参加記 堀智博「井伊直孝の『譜
代矜持』」によせて 大橋 幸奈

◆岡山民俗 岡山民俗学会
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17
次田圭介方 年4000円 1949年創刊
◇230 2010.2 B5 78p
白石島の鯨乗り—瀬戸内海域の島
嶼社会における阪神方面の出稼
ぎと「家」 藤原 洋
懸場帳に見る備中売薬 木下 浩
地方自治体における歴史民俗資料
館運営と資料保存活用への課題—
特に指定管理者制度導入に伴う
変化に注目して 吉原 睦
岡山県邑久郡(旧)南巡り八十八ヶ
所霊場の扇形木札 辻野 喬雄
卒寿記念 佐藤米司先生著作目録
追悼 福尾美夜氏
福尾さんさようなら 次田 圭介
人々に対する温かい眼差し 立石 憲利
福尾美夜先生を偲んで 今田 節子

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇117 2010.3 A5 18p
随 想
岡山大学医学部創立140周年を
迎えて 小田 皓二
世界は広いが世間は狭い 河本ほあら
財団の将来展望と「甘棠碑」 松尾 光義
岡山の自然 イヌカイヒゲトチ
ビシデムシ 鈴木 茂

岡山の文化財 井田跡 石井 啓
岡山の人物 武岡鶴代 尾島 治
岡山の文学碑 芭蕉桜塚 神原 英朗
わが町・わが村の自慢 西大寺緑
花公園・体験学習施設百花ブラ
ザ(岡山市)
岡山の匠 橘靖典(染め物)
地域文化創造に向けて 今生きて
いる坪田譲治(岡山市)
美術館・博物館めぐり
津山洋学資料館(津山市)
文化財団ニュース/会員だより/
催しのご案内

◆倉敷の歴史
倉敷市総務局総務部総務課
〒710-1398岡山県倉敷市箭田1141-1
総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151
www.city.kurashiki.okayama.jp
◇20 2010.3 A5 122p
特別寄稿 高梁川流域用水問題と
広域文書館 中野美智子
猿懸城合戦と毛利氏の備中国経略
畑 和良
児島醤油株式会社と岡山県の醤油
醸造業 前田 昌義
戦前倉敷の道路行政と都市計画 中野 茂夫
倉敷川畔伝統的建造物群内の漆喰
塗り「奉行窓」 間壁 忠彦
狛犬石工銘に関する考察(2)
—徳松と吉松 藤原 好二
聞き書き昭和史
児島の繊維業界の変遷 河合 達朗
郷土史家紹介 花田一重—その事
績と著作目録 大森 久雄
史料群紹介 倉敷市所蔵安藤弘志
氏寄贈写真・フィルム
総務課歴史資料整備室

アラカルト 小堀正次の書状 山本 太郎
報告 総務課歴史資料整備室移転
のお知らせ

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円
◇268・269 2010.2 A5 136p
《特集 港町・鞆の浦と瀬戸内》
特集にあたって
鞆における考古学的調査 藤野 次史
鞆の浦の伝承と信仰—平家伝説・
福禅寺縁起と熊野信仰 渡邊 誠
「鞆幕府」論 藤田 達生
近世鞆町の社会構造と地域社会 片岡 智
明治・大正期における鞆港—西廻
海運からの自立とその変化をめ
ぐって 三木 理史
鞆の浦の町家における土間形式の
変化 川後のぞみ
埋立架橋計画と鞆の浦 長谷川博史
史跡をあるく 常夜灯/鞆の大波
止/琉球司楽向生碑/沼名前神
社の柱連柱・玉垣
芸備掲示板
部門展 暮らしのぬくもり—寶
水堂コレクションの布と道具
広島県立歴史博物館
新春企画展「雛祭」、第8回鞆・
町並ひな祭

福山市鞆の浦歴史民俗資料館
鞆・町並ひな祭実行委員会
◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6215
◇152 2010.2 A4 18p

福山築城四百年に向けて 田口 義之
平成22年度総会開催
絶句史跡探記(4)
古城跡探訪の怪奇(2) 末森 清司
偽りの明王院寺史 小林 定市
東海道五十三次ゆったり歩き紀行
(5) 小田原宿から箱根宿へ 岡田宏一郎
宝篋印塔の変遷と刻經の内容(三
寺院を比較して) 出内 博都
倭武天皇 根岸 尚克
歴史トリビア(2) 野母 寿子

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935
◇227 2010.2 B5 12p
今月の各地 旧暦2月の「お水取
り」とカレーズ 大本 静人
山名氏はどのようにして三原に来
たか(1) 樫 博自
福島正則の改易と家臣の去就(2) 大谷 和弘
遺稿「小早川隆景公の遺徳を偲ん
で」(3) 元三原市長 桑木健一
(1910～1970)
◇228 2010.3 B5 12p
今月の各地 今時の節分事情 吉田千津子
山名氏はどのようにして三原に来
たか(2) 樫 博自
遺稿「小早川隆景公の遺徳を偲ん
で」(4) 元三原市長 桑木健一
(1910～1970)
春のハイキング「虚空蔵さん参拝」
のご案内 大谷 和弘
「桜の花見坂 三原(旧)一周膝栗
毛」参加者募集!! 鈴木 健次

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283

松本紀郎方 TEL088-875-6671
 ◇156 2010.3 B5 53p
 良寛と歌友阿部定珍(1) 岩崎 義郎
 続・イスの木のある神社 広谷喜十郎
 秦の昔話(23) 東谷の巻 永野美智子
 おばあちゃんの居場所 久米生太子
 大柳神社跡を訪ねて(1) 松本 紀郎
 昭和の記憶(11) 中畑 中道
 空海と土木事業 笹原 保博
 チェリ抄(9)(10) 永国淳哉／藤本知子
 坂本龍馬・青春の道(幕末ノート
 (2)) 広谷喜十郎
 青の洞門と一恩讐の彼方に 毛利 俊男
 地名往来「車谷」「松尾」「塩屋」
 (高知新聞から) 松本 紀郎
 秦地区の手水鉢(1) 岡村 庄造
 岡村庄造氏拓本集から(17)／拓本
 解説

九州・沖縄

◆九州史学 九州史学研究会
 〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
 九州大学文学部日本史学研究室内
 TEL092-642-2375
 www.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
 ◇154 2010.2 B5 100p
 明治維新时期朝日新聞における交礼
 問題 牧野 雅司
 江華島条約「附属条約」の交渉と
 宮本小一 諸 洪一
 〈2008年度九州史学研究会大会公開講演〉
 これからの律令制研究
 —その課題と展望 大隅 清陽
 建武政権と室町幕府との連続と不
 連続 家永 遵嗣
 2008年度九州史学研究大会発表要
 旨

◆市史研究ふくおか
 福岡市博物館市史編さん室
 〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1
 TEL092-845-5245 2006年創刊
 ◇5 2010.2 A4 118p
 《特集 藝の力と福博》
 第5回福岡市史講演会「そろおお
 ごと！—福博藝能いろはにほへ
 と—」 福岡市史編集委員会民俗専門部会
 講演 川上音二郎と博多 長谷川法世
 座談 藝の力と福博 長谷川法世／安田宗生／関一敏
 研究ノート 「近代」における「伝
 統藝能」の形成—筑前琵琶の場
 合 松本 常彦
 西海道の俘囚 熊谷 公男
 天文初年における大内氏の筑前国
 志摩郡支配と柑子岳城 三村 譜介
 貝原益軒諫言録と近世前期の福岡
 藩政一家臣の困窮と藩財政の窮
 乏を中心に 柴多 一雄
 明治前期における博多織の生産動
 向について 宮地 英敏
 骨の同位体分析から中世博多の人
 々の生活に迫る 米田稷／覚張隆史／
 石丸恵利子／富岡直人
 弥生時代後期の福岡平野周辺にお
 ける集落動態(1)—近年の研究
 動向の批判的検討から 久住 猛雄
 有田・那珂・比恵遺跡における旧
 石器時代新資料の報告 夏木大吾／吉留秀敏

◆福岡県地域史研究所 県史だより
 (財)西日本文化協会 福岡県地域史研究所
 〒810-0004福岡市中央区渡辺通2-1-82
 電気ビル第一別館5階 TEL092-713-6451
 www.chiikishi.jp

◇129・130 2010.3 B5 12p
 福岡県地域史研究所と県史編纂の
 こと 永江 眞夫
 新しい専門職「デジタル・アーキ
 ビスト」について—史料管理の
 視点から 山口 信枝
 福岡県地域史研究所所蔵史料の移
 管について 事務局
 福岡県地域史研究所所蔵史料の移
 管のお知らせ／福岡県史編纂の
 コマ

◆末盧国 松浦史談会
 〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
 TEL0955-73-3549 年2000円
 ◇181 2010.3 B5 20p
 唐津市重要文化財
 銅造阿弥陀如来立像 志佐 惲彦
 歴史・伝説・歌
 —松浦佐用姫をめぐる(2) 大嶋 仁
 大久保時代の寺院 宮崎 博司
 長谷川雪旦の「西国写生」 福井 尚寿
 山崎本「寺沢公記録」(2) 寺沢 光世
 熊野皇十二社宮落慶 熊本 典宏
 唐津に残った唯一の武家屋敷(1)
 —大嶋邸の数寄屋茶室の粹と文
 化遺産 中里 紀元
 高取家住宅南邸 堀川 義英
 古文書資料「大急触」 濱口 尚美
 末盧國(歌) 式島 若彦
 霧に浮かばろしの唐津城 古川 工
 秋の史蹟めぐり(2)
 —若狭・丹後路の旅 佐々木市太郎

◆研究所情報 長崎人権研究所
 〒850-0048長崎県長崎市上銭座町2-7
 TEL095-847-8690 年5000円
 homepage3.nifty.com/naga-humanrights/

◇52 2010.3 A4 8p
 研究所の体制が変わります
 人種起源ということ 阿南 重幸
 人権関係新聞記事ひろい読み
 2009年11月～2010年2月
 図書の紹介 『対島の朝鮮貿易と
 被差別民』(長崎人権研究所、
 2010年3月)
 部落史断簡(1)

◆みやざき民俗 宮崎県民俗学会
 〒880-0924宮崎市東宮1-321 前田博仁方
 TEL0985-56-2450 年3000円 1955年創刊
 www.hoops.ne.jp/~mminzoku/
 ◇62 2010.2 B5 118p 2000円
 さらなる発酵を願って 原田 解
 日本民具学会・宮崎県民俗学会共
 催研究会公開講演会 木食僧
 (佛)研究の八十年—木食観海・
 木喰行道・木食観正—木食佛は
 民芸か 西海 賢二
 〈特集 情報と金融〉
 宮崎県における公益質屋について
 那賀 教史

〈シリーズ
 21世紀に語り継ぐ地域の民俗文化〉
 宮崎の妖怪セコ・カリコ 前田 博仁
 日南海岸の素潜り漁とスイリのく
 らし 湯浅 倉平
 宮崎の野鳥俗名考—ユニークな命
 名と消える生活誌 鈴木 素直
 大淀河の水運—近世の「御手山勘
 場」と交易品をもとに 甲斐 亮典
 みやざきの迷信と俗信(2)
 —病害虫、災害に関して 川辺 節義
 二つの漁業日誌 押川 周弘
 ひっそりと息づく神々—子どもと
 取り組む民俗誌(2) 西岡 洋三

念仏講塔 前田 聡
昭和初期の陸地地区について
—教育とあかりを中心として 小野 忠幸
西南の役 薩軍 高岡郷土族の口
供書 首藤 光幸
例会および秋季大会の実施報告／
宮崎県民俗学会刊行 会誌目録
／平成21年度活動報告

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇177 2010.3 B5 6p
3月定例会レジュメ 柳田國男著
『海南小記』の宮古 仲宗根將二
1月定例会のまとめ 宮古島記事
仕次『与那覇はら軍』について
下地 利幸
クヂナ・クズ豊見親と七人兄弟 下地 利幸
朝鮮済州島人見聞記の学習
—2月定例会より 下地 和宏
『宮古研究』第11号の原稿募集 砂川 幸夫
2万年前の人骨 石垣市で発見
宮古島のピンサアブ洞人は2万
6000年前と推定
第27回東恩納寛惇賞
仲宗根將二氏に決まる 下地 和宏

寄贈図書紹介

◆西浜と外ヶ浜の民俗 青森県史叢書
青森県環境生活部県民生活文化課県史編さん
グループ編 (〒030-8570 青森市長島1-1-1
県庁舎北棟3F TEL017-734-9238) 2010年3月
A4 307頁
平成8年度から開始された青森県史編纂事業
によって収集された関連資料などを刊行する
青森県史叢書。本書では津軽地域・岩木川流

域の民俗(2008年3月)に続き、西浜・外ヶ浜
の民俗をまとめる。海からみた津軽の民俗／
社会構成／生業／衣食住／人生儀礼／年中行
事／信仰／民俗芸能／口承文芸／付録資料
(『郷土史』南金沢尋常高等小学校、『鯨ヶ沢
郷土読本』西海尋常高等小学校、『上磯風聞
志』齋藤吉彦)

◆狂歌陸奥百歌撰

東北文化資料叢書5 近世文学資料
東北大学大学院文学研究科 東北文化研究室
編・刊 (〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
http://ir.library.tohoku.ac.jp/re/) 2010年3
月 A4 89頁
文政2年(1819)10月に仙台の芳潤館から刊行
された狂歌の撰集『狂歌陸奥百歌撰』(福島県
伊達市伏黒 富田家蔵)を翻刻・収録する。
解説(高橋章則)、『狂歌陸奥百歌撰』につい
て、富田本の意義、版元 芳潤館池田屋源
蔵、編者 千柳亭唐丸、狂歌と地域文化、仙
台圏の狂歌享受層、本書の活用)／翻刻／影
印／改訂増補作者姓名居所分類(索引)

◆秋田県庁旧蔵文書 (秋田藩関係文書Ⅰ)

秋田県公文書館所蔵古文書目録6
資料群目録1
秋田県公文書館編・刊 (〒010-0952 秋田市
山王新町14-31 TEL018-866-8301) 2009年12月
A4 203頁
秋田県庁に旧蔵されていた文書のうち、古文
書として分類されていた「秋田藩関係文書」
2705点を収録した目録。県A(おもに簿書類、
424点)／県B(おもに一紙文書、1104点)／県
C(おもに絵図類、1105点)／県D(文書館開
館後の追加分、72点)／欠番リスト

◆秋田県庁文書群目録7

大正15年～昭和10年
秋田県公文書館編・刊(同上) 2010年1月
A4 107頁
廃藩置県以後、明治5年3月の開庁から昭和22

年の地方自治法施行までを第1期として目録
化している秋田県庁文書群目録の第7集。目
録では県庁文書群を数十回にわたり行われた
組織改編ごとに時期区分し、本書には大正15
年6月29日の組織改編下で作成された簿書類
の目録。知事官房／内務部／学務部／警察部
／秋田県庁組織変遷表(大正15年～昭和10年)
／補遺

◆栗生沢民俗誌 会津の山間地集落

石川純一郎著 南会津町教育委員会 (〒967-
0004 福島県南会津郡南会津町田島字宮本東
22) 2010年1月 A5 248頁
地域の概況／社会生活／山国の生業／衣食住
／人生儀礼／年中行事／民俗宗教／俗信と民
間療法／栗生沢の三ツ獅子／附編 三ツ獅子
附属文書(獅子稽古決議書、三ツ獅子附属巻
物授與引渡書)

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録41

県内諸家寄託文書35
福島県歴史資料館編・刊 (〒960-8116 福島
市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2010年3月
B5 56頁
昭和49年度から刊行を開始した福島県歴史資
料館の資料目録の41冊目として、4件の寄
託・寄贈文書の目録を収録する。安斎直巳家
文書 その3(4点)／斎藤文郎家文書 その3
(183点)／杉内重義家寄贈文書 その2(376
点)／官報 大正期(福島県庁文書、173点)
◆小坂城跡Ⅱ—遺跡測量調査報告書
三井考測編 牛久市教育委員会刊 2009年6
月 A4 39頁

2008年8月6日から12月27日まで行われた牛久
市小坂町に所在する小坂城跡の遺跡測量調査
報告書である。調査に至る経緯と経過／遺跡
の周辺と環境／調査の方法と成果／総括／小
坂城跡をめぐる諸問題 牛久市小坂城跡出土
の縄文土器(齋藤弘道)、小坂城と周辺村落(千
葉隆司)、小坂城の出土遺物について(小杉山

大輔)／引用・参考文献／図版／報告書抄録

◆館(たて)と宿(しゆく)の中世

—常陸大宮の跡とその周辺
茨城大学中世史研究会・常陸大宮市歴史民俗
資料館 (〒319-2265 茨城県常陸大宮市中富
町1087-14 TEL0295-52-1450) 編 常陸大宮市
刊 2009年10月 A4 16頁
茨城大学中世史研究会と常陸大宮市との地域
連携事業による市域の山城とそれを囲む歴史
的景観について発表した成果報告展示(2009
年10月10日～11月23日)の資料集。序論—館
と宿の時代／大宮地域／美和地域／諸川地域
／山方地域／御前山地域／常陸大宮市のおも
な中世城郭

◆水戸城跡 三の丸土塁および堀の復旧に伴 う工事・調査報告書

三井考測編 茨城県総務部管財課・水戸市教
育委員会刊 2006年9月 A4 84頁
2005年7月12日から2006年9月28日かけて行わ
れた水戸城三の丸土塁・堀の復旧に伴う工
事・調査報告書。事業に至る経緯／史跡の周
辺環境／測量・ボーリング調査の成果／発掘
調査の成果／水戸城をめぐる諸問題 水戸城
跡自然科学分析(辻本崇夫)、城下町水戸を描
いた江戸時代の絵図(小野寺淳・川又由之)、
地形および地表面観察からみた水戸城の分布
調査(三井猛)、建築学から見た水戸城(來本
雅之)、考古学的視点からみる水戸城(川崎純
徳)、水戸城の調査成果と今後の課題(関口慶
久)、引用参考文献／写真図版／報告書抄録

◆坂本龍馬と海援隊101の謎

川口素生著 P H P 研究所 (〒102-8331 東
京都千代田区三番町3-10 TEL03-3239-6233)
2009年11月 文庫版 300頁 619円
坂本龍馬の(実像)をめぐる謎／坂本龍馬の(ル
ーツ&父母)をめぐる謎／坂本龍馬の(江戸遊
学)をめぐる謎／坂本龍馬の(土佐藩脱藩)を
めぐる謎／坂本龍馬の(伝説)をめぐる謎／坂

本龍馬と〈海援隊〉をめぐる謎Ⅰ—海援隊(亀山社中)の結成／坂本龍馬と〈海援隊〉をめぐる謎Ⅱ—薩長同盟の締結／坂本龍馬と〈海援隊〉をめぐる謎Ⅲ—龍馬負傷&「いろは丸」事件／坂本龍馬の〈家族&恋愛〉をめぐる謎／坂本龍馬と〈船中八策〉をめぐる謎／坂本龍馬&中岡慎太郎の〈暗殺〉をめぐる謎／坂本龍馬関係略系図／坂本龍馬関係略年表／坂本龍馬関係人物／主要参考文献一覧

◆第3回シンポジウム『『無差別爆撃』の転回点—ドイツ・日本都市空襲の位置づけを問う』報告書

(財)政治経済研究所付属東京大空襲・戦災センター戦争災害研究室編・刊(〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 TEL03-5857-5631) 2009年11月 A4 71頁

1930年代のドイツ・日本などによる空襲と冷戦期をつなぐ第二次世界大戦期の連合国によるドイツや日本への爆撃をテーマに、2009年7月27日に開催されたシンポジウムの報告書。問題提起(大岡聡)／日本への住民選別爆撃の実相—米軍資料研究から(中山伊佐男)／ドイツにおける空襲研究をめぐる(木戸衛一)／論文参加 ドイツの空襲展示—統一後のドレスデン市を中心に(柳原伸洋)／コメント 日本の米軍資料研究、ドイツの空襲研究が示唆するもの(山本唯人)／質疑討論の概要

◆新宿 菊池家文書目録Ⅰ

府中市内家分け古文書目録13
府中市郷土の森博物館編・刊(〒183-0026 東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921) 2010年1月 A4横 60頁
年1回刊行されている府中市内家分け古文書目録第13集として、第1集「新宿比留間家文書目録」に引き続き、江戸時代の府中宿を構成した三町のなかの新宿菊池家文書628点の史料項目を収録する。

◆奥原晴湖画室繡水草堂移築記念

奥原晴湖展

古河歴史博物館編・刊(〒306-0033 茨城県古河市中央町3-10-56 TEL0280-22-5211) 2010年3月 A4 79頁

天保8年(1837)古河藩士池田政明の四女として生まれ幕末・明治を通して活躍した女流南画家 奥原晴湖の埼玉県熊谷での拠点「繡水草堂」の改修移築を記念して開催された展覧会図録。晴湖と文人たちの世界(永井路子)／奥原晴湖の生涯と作品(小川知二)／作品図版(古河から江戸へ、江戸 墨吐烟雲楼の時代、東京 墨吐烟雲楼の時代、熊谷 繡水草堂の時代、晴湖をとりまく人びと)／奥原晴湖の画室(墨吐烟雲楼、繡水草堂)／資料

◆関東灘礼賛—利根川下流域の酒文化

千葉県立中央博物館大利根分館編・刊(〒287-0816 千葉県香取市佐原ハ4500 TEL0478-56-0101) 2010年3月 A4 53頁
千葉県立中央博物館大利根分館で開催された平成21年度企画展の図録。江戸時代から明治・大正時代まで利根川下流域で盛んであった酒造り文化について、酒造りに関する道具、古文書や奉納絵馬などの技術誌・民俗誌の視点から、現在も続く造り酒屋を中心にとりあげる。酒とは—酒の歴史／造り酒屋と水運／酒を醸す／酒と人々／酒の未来

◆第4回無形民俗文化財研究協議会報告書

無形の民俗の伝承と子どもの関わり
独立行政法人文化財研究所 東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL03-3823-4925) 2010年3月 A4 127頁
2009年に開催された第4回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて／趣旨説明(俵木悟)／大磯の七夕行事の継承の取り組み(佐川和裕)／大鹿歌舞伎継承の取り組み(北村尚幸)／伝統文化こども教室事業の現状と課題について(松本保之)／直根小学校に

おける民俗芸能への取り組み(金利紀)／餅・団子を通した様々な「発見」(小谷竜介)／総合討議／参考資料／アンケート結果

◆千代田の記憶—区内生活史調査報告書

千代田区教育委員会・千代田区立四番町歴史民俗資料館編・刊(〒102-0081 東京都千代田区四番町1 TEL03-3238-1139) 2010年3月 A4 168頁

個人の視点を通して語られた日常生活や地域の様子を「個人生活史」としてまとめ、資料化した報告書。平成21年3月から22年3月にかけて行われた調査とともに、文化財保護調査員であった永井幸子氏による昭和50年代の聞き取り調査を収録する。解説 「記憶」を「記録」するということ(加藤紫織)／論考 個人生活史の意義(倉石忠彦)／調査編 外神田 天野彌一さん、平河町 山口光弘さん、鍛冶町 高野登喜さん、神田須田町 小山雅司さん、東神田 小川フデさん、内神田 高柳信三郎さん／資料編 神田市場 M・Aさん、神田神保町 S・Yさん、三番町 I・Sさん、旧東龍閑町 M・Hさん、岩本町 K・Mさん、神田神保町 U・Yさん

◆ある蔵書家の書棚

—斎藤吉之氏旧蔵資料調査報告書

千代田区教育委員会・千代田区立四番町歴史民俗資料館編・刊(同上) 2010年3月 A4 214頁

昭和14年から46年にかけて、外務省や衆議院・参議院の事務官僚として勤務された故斎藤吉之氏の8000点近い書籍群を、資料的正確から三つに分類して収録する調査報告書。目録編(和本、洋装本、洋書)／解説編 斎藤吉之氏旧蔵資料と和本について(滝口正哉)、斎藤吉之氏旧蔵資料(洋書・洋装本)調査報告(大村達郎)

◆原胤旧蔵資料調査報告書(3)

—江戸町奉行所与力・同心関係史料

千代田区教育委員会・千代田区立四番町歴史民俗資料館編・刊(同上) 2010年3月 A4 279頁

平成18年4月から同22年3月にかけて行われた、千代田区所蔵の原胤旧蔵資料調査の報告書第3冊。解説(加藤貴)／史料(廻り方手控一・三・四・五・六・七)／原胤昭旧蔵の「公私私記」について—町方与力と「公事方御定書」(高塩博)／系譜・由緒書の提出と与力の家意識(加藤貴・西脇康)／仁杉たきの江の島参詣について(滝口正哉)／北町与力秋山氏系図、北町与力松浦氏系図、江戸町与力同心役付(享和三年)

◆羽田 蒲田物語

小名木綱夫著 現代短歌評論社(〒144-054 東京都大田区新蒲田3-4-28 TEL03-3736-0650) 2010年3月 B5 188頁 1000円

六大ビューポイント／民族感情—住民感情—人物群／飲む打つ買う／教え育てる／食う、寝るところ、住むところ／サッカー命／塾いのち／中国革命を巡る旅／革命 命

◆細野喜代四郎と繁荘—小川に生まれた兄弟の軌跡 民権ブックス23

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会(〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2010年3月 A5 108頁

2009年度企画展「細野喜代四郎と繁荘—小川に生まれた兄弟の軌跡—」の記録／記念講演「政治の時代」の学生たち—細野繁荘世代の東京専門学校(真田将之)／寄稿 私が「細野喜代四郎論」を書いたころ—1960年代の追憶(色川大吉)／史料紹介 細野喜代四郎関係史料(杉山弘)／史料紹介 細野繁荘関係史料(松崎稔)

◆堀船地区田中煉瓦文書調査報告書

文化財研究紀要別冊19
東京都北区教育委員会編・刊(〒114-0055 東京都北区王子本町1-15-22 教育委員会事

務局生涯学習推進課文化財係 TEL03-3980-9325) 2010年3月 A4 50頁

明治時代から大正時代にかけて、北区堀船で煉瓦を製造していた田中家の史料152点の目録。田中煉瓦関係史料(54点)／田中煉瓦関係資料(40点)／堀船関係史料(25点)／堀船関係資料(2点)／田中家(13点)／記録類(10点)／記録編纂物(2点)／整理痕跡(6点)

◆厚木の歴史探訪8 石の神仏

厚木市文化財協会編・刊 2010年1月 B6 58頁

厚木市内の道祖神、文学碑、古墳、寺院、神社、記念碑、地蔵をテーマにまとめられた歴史探訪シリーズの最新刊。本書では宝篋印塔や庚申塔など、「道祖神」「地蔵」編で取り上げなかった厚木市域の石造神仏50基を、案内図とともにわかりやすく紹介する。

◆新横須賀市史 別編 考古

横須賀市編・刊 (〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 TEL046-822-8150) 2010年3月 B5 1136頁 4000円

2004年から刊行開始された新市史(全15巻)の第8回配本。旧石器時代から近現代まで、横須賀市域の各時代を代表する109遺跡を収録。〔総説 各時代の概要と横須賀の遺跡〕 各時代の概要／横須賀市域の旧石器時代／横須賀市域の縄文時代／横須賀市域の弥生時代／横須賀市域の古墳時代／横須賀市域の古代／横須賀市域の中世・近世／近代の横須賀〔横須賀市内の遺跡〕 東京湾内湾域／東京湾外湾域・平作川流域／相模湾岸域／付図 横須賀市内の各時代遺跡分布図／参考文献一覧

◆「高下日記」第四集—昭和9年～昭和13年 大和市史資料叢書12

大和市役所文化振興課市史・文化財担当 大和市 (〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間

1-1-1 電話046-260-5336) 2010年3月 B5 261頁

大和市下鶴間在住の高下春美氏の祖父恭介氏が大正8年(1919)1月1日から昭和35(1960)1月9日まで、約42年間にわたり書き留めた日記「神前録」。本書には、昭和9年(1934)から昭和13年(1938)までを収録する。解題(大畑哲)／昭和九年 神前録／昭和十年 神前録／昭和十一年 神前録／昭和十二年 神前録／昭和十三年 神前録／参考文献

◆三浦一族年表

—年表とコラムで読むその軌跡

山崎正著 三浦一族研究会編 (〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市企画調整部文化振興課内 TEL046-822-8116) 横須賀市刊 2010年3月 A5 158頁 800円
歴史上その存在が確実な三浦為継から、陸奥国会津地方の戦国大名華名氏の滅亡までの三浦一族の事績について、「三浦一族関連事項」と「日本史主要事項」、そして年表とともに79話のコラムを見開きで編集した三浦氏年表。また、為継以前についても「三浦氏の家創造神話の時代」として収録する。

◆越後と会津を語る会(猪苗代大会)に参加して—「温故交流」に感あり

小林新三著 B5 39頁

「巻史学会」総会発表要旨 平成22年2月28日(日) 越後と会津を語る会(猪苗代大会)に参加して—「温故交流」に感あり／教育の夜明け—伊藤安齋／「国境の町、満州里のできごと」—少年満蒙義勇団を想起して／「巻菱湖臨書米芾天馬賦」について 小考／後書に載えて「今昔」に学ぶこと

◆春日懐紙

石川県立歴史博物館編・刊 (〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236) 2009年7月 A4横 36頁

石川県立歴史博物館所蔵「春日懐紙」の重要

文化財(歴史資料)指定を記念した展覧会「重要文化財指定記念 春日懐紙・春日万葉集とふるさとの文芸」の参考図録。万葉集の筆写時のままの状態に残されている6枚を含む17枚の「春日懐紙」を、釈文とともに収録する。

◆武田晴信朝臣百首和歌 全釈

—信玄公の初恋

松本憲和著 A・S・Nニルの学舎出版部 (〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-6-8 渋谷井上ビル5階 TEL03-5469-9880) 2010年2月 B6 264頁 2500円

山梨県南アルプス市加賀美の法善寺に伝わったとされる「武田晴信朝臣百首和歌」の、「甲斐国志」本と法善寺蔵の文政三年刊行木版本をテキストにした注釈書。「武田晴信朝臣百首和歌」(解題、全釈)／解説(「武田晴信朝臣百首和歌」の構成とその目的、「欄津夫人」の出自、結婚までの足跡、小坂観音院と「欄津夫人」のその後)

◆『富士山道しるべ』を歩く

改 富士山叢書1

富士吉田市歴史民俗博物館編 (〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田2288-1 TEL0555-24-2411) 富士吉田市教育委員会刊 2010年3月 A5 107頁

富士吉田市歴史民俗博物館が所蔵する『富士山道しるべ』(万延元年(1860)刊)を底本として口語体に読み下すとともに、江戸からの富士山道を現在の地図上でたどって現状を併記した富士登山のためのガイドブック。2001年3月に刊行された富士吉田市歴史民俗博物館叢書「『富士山道しるべ』を歩く」の増補改訂版である。

◆鯽のきた道

越中・飛騨・信州へと続く街道

市川健夫監修 松本市博物館編 オフィスエム (〒380-0802 長野市上松2-2-17 城東ビル3F TEL026-237-8100) 2002年12月 (2009

年12月2刷) A5 124頁 1524円

2001年11月24日～2002年1月14日まで松本市立博物館で開催された特別展「鯽のきた道」の展示概要をもとに、信州の年取り魚・鯽とそれが運ばれた街道を二大テーマとして誌上に再現する。信州の鯽街道と鯽文化(市川健夫)／富山の鯽漁と暮らし(小境卓治)／鯽のきた道 概略ルート全図／鯽のきた道をゆく 第一部 越中富山から飛騨高山へ(富山を発つ、飛越国境の関門、東と西 二つの道筋、飛騨高山に着く)／鯽という魚の不思議(稲村修)／鯽のきた道をゆく 第二部 飛騨高山から信州松本へ(江戸街道を辿る、野麦峠越え、寄合渡から松本、そして伊那谷へ、もう一つの鯽のきた道)／塩そして魚の移入(胡桃沢勘司)／松本平の鯽文化／今に生きる鯽のきた道 21世紀の鯽街道をゆく

◆静岡県の民俗歌謡 「遊び」と「祈り」の口承文芸 静新選書023

石川純一郎著 静岡新聞社 (〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-1 TEL054-284-1666) 2008年3月 新書判 203頁 952円

はじめに—口承文芸と音楽のコラボレーション／労作歌(田歌、麦つき歌、白ひき歌、茶歌、地つき歌、船おろし・盤木おろしの歌)／祝い歌(嫁入り歌、若い衆座敷の歌、えんころ節、棟梁送り歌、渡座の歌、土肥大漁節、棒木歌)／祭り歌(お太鼓祭り歌、大太鼓祭り歌、鹿島踊り歌、御船歌)／遊び歌(駿河舞歌、田遊び歌、ひよどり歌、盆踊り歌)／子守り歌(遊ばせ歌、寝かせ歌、守り子の述懐の歌)／わらべ歌(遊技歌、歳時歌・口遊び歌)／静岡県の風土と民俗歌謡／あとがき／本書関係著者執筆文献等／採録時の静岡県市町村図

◆下賀茂の籠獅子と神楽

—静岡県賀茂郡南伊豆町

吉川祐子編 民俗文化研究所 (〒438-0086 静岡県磐田市見付3532) 2010年3月 A4 92

民俗文化研究所がJ A静岡県信連民俗芸能信仰基金からの助成をうけて平成21年度に実施した南伊豆町・下田市の獅子舞つき祭礼の調査報告書である。はじめに一祭りは若衆から消防団へ／南伊豆町下賀茂の概要／祭礼と伝承組織／下賀茂の神楽と籠獅子／南伊豆方面の籠獅子と神楽／むすび—ムラを守る消防団の散楽獅子

◆愛知県における明治期の地方誌教科書

永田文夫著（〒479-0809 愛知県常滑市坂井字狭間1-1 TEL0569-37-0088）2009年11月 B 5 60頁

愛知県における明治期の地方誌教科書（第一報）—その書名と所在を中心にして／愛知県における明治期の地方誌教科書（第二報）—明治初期の県地誌の内容を中心に／愛知県における明治期の地方誌教科書（第三報）—明治十年代の郡地誌の内容を中心に／愛知県における明治期の地方誌教科書（第四報）—明治二十年前後の県地誌の内容を中心に／愛知県における明治期の地方誌教科書（第五報）—明治二十六年以降の内容を中心に／付録資料

◆新修名古屋市史 資料編 近世2

新修名古屋市史編集委員会編 名古屋（〒461-0011 名古屋市中区白壁1-3 名古屋市政資料館 TEL052-953-0051）2010年3月 B5 837頁

『新修名古屋市史』本文編全10巻完結（2001年10月）をうけて2006年3月から刊行が開始された資料編第7冊として、尾張藩祖・徳川義直から8代藩主・宗勝までの近世前半期の資料を収録する。金鯢、かがやく（名古屋城と江戸屋敷、藩政、藩主）／名古屋と熱田の賑わい（名古屋、熱田）／発展する商工業（犬山屋神戸家、麻屋吉田家、水口屋小川家、大丸屋下村家、水野太郎左衛門家、津田助左衛門家）／花開く文化の諸相（地誌と俳諧、紀行

文、遺訓・家訓）／武士の勤務と生活（由緒・家督、知行、職務、家中・同心、勝手、冠婚葬祭、その他）／寺社の人びとの信仰（尾張徳川家菩提寺建中寺、諸寺院、神社）

◆百済寺文書調査報告書

東近江市教育委員会編・刊（〒527-1225 滋賀県東近江市山路町2225 文化財課市史編纂室 TEL0748-42-5031）2010年3月 A4 77頁
2005年2月の市町村合併により新しくスタートした東近江市史編纂事業の一環として進められた百済寺文書の調査報告書。百済寺は推古14年(606)、聖徳太子の創建と伝えられ、本書には新出史料百数十点を含む明応7年(1498)から明治24年(1891)までの136点を収録する。目録／史料／解説／付論 百済寺の寺院組織について(明日一史)、近世百済寺地域の村々の構造(増田巧)

◆京丹後市の考古資料 京丹後市史資料編

京丹後市史編さん委員会編 京丹後市（〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226 京丹後市教育委員会文化財保護課 TEL0772-69-0640）2010年3月 A4 404頁 2000円（送料450円）

2004年4月の京丹後市の誕生をうけて開始された京丹後市史編纂事業による資料編第1冊。京丹後市内の遺跡160ヵ所を主要河川流域ごとに収録する。京丹後市の考古資料概説／竹野川下流域と周辺の考古資料／竹野川上流域の考古資料／福田川流域と周辺の考古資料／川上谷川・佐濃谷川流域と周辺の考古資料／京丹後市内の考古資料集成／調査・保存の歴史／文献一覧

◆峯山藩関係史料集 京丹後市史資料編

京丹後市史編さん委員会編 京丹後市（同上）2010年3月 A5 411頁 1500円（送料340円）
丹後峯山藩の藩政・村方などにかかわる峰山図書館所蔵史料など13点を翻刻・収録する。峯山藩の組織と藩政 峯山京極家（寛政重修

諸家譜 峯山京極家分、丹後峰山京極家譜）／藩制度（峰山藩制度取調書、天保十一年寺社方記録）／参勤交代（明和三年旅中書留）／その他（石丸村年貢皆済目録・代官目録、嘉永年間廻章写、文政二年掟）
峯山藩領のようす 峯山陣屋町（明和三年御用諸色之控、慶応元年御用諸事記）／村（安永八年丹波村永代帳、文化五年丹波村永代日記、慶応元年丹波村永代帳）

◆近世伊予越智島地域における流動する人・物・情報—御用日記・諸願控の総合的研究 京都府立大学文化遺産叢書2

東昇編 京都府立大学文学部歴史学科（〒066-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5）2009年3月 A4 215頁

2008年4月から新たに設置された歴史学科文化遺産学コースの研究成果を公表する叢書。越智島周辺地図／共同研究の概要／共同研究の経過／越智島御用日記・諸願控の史料情報分析—願書のライフサイクルと決裁過程（東昇）／越智島における庄屋訳交代と百姓連判（柚山俊夫）／松山藩越智島における難船処理と積荷処分について（白石尚寛）／近世後期岩城島における港湾整備の歎願運動—文化年間「越智島岩城村湊浚歎書」の検討を通じて（平岡瑛二）／近世後期の世間師—出稼ぎ大工の生涯（井上淳）／史料翻刻（弘化二年已御用日記、弘化二年書願控綴込、藤井園重一生記）

◆八幡地域の古文書と石清水八幡宮の絵図—地域文化遺産の情報化 京都府立大学文化遺産叢書3

東昇・竹中友里代編 京都府立大学文学部歴史学科（同上）2010年3月 A4 190頁

第Ⅰ部 地域文化遺産の情報化 石清水八幡宮の二つの大砲—地域文化遺産と文化情報学（東昇）／八幡市の文化遺産と調査の歩み（竹中友里代）／松花庭園古写真集

第Ⅱ部 古文書調査の方法—木村家における

調査を例に 調査に至る経過（竹中友里代）／蔵出しの記録（本田章訓）／収納状況の記録（谷口拓）／古文書整理方法（稻吉昭彦）／劣化・損傷が著しい史料の応急措置—裏打ちと紙除去作業について（齊藤慶一）／調査写真記録／京丹後市史編纂に関する近代文書調査事例（松尾佐保）

第Ⅲ部 聞き取りの情報化 木村家のあゆみと八幡の民芸品—紙鯉とかんざしの記憶（杉山三佳）／喜撰糖の再現と御菓子司能椽稲房安兼（東昇）

第Ⅳ部 絵図の情報化 二つの石清水八幡宮 神領絵図の景観（竹中友里代）／「石清水八幡宮神領古図」Ⅰ・「石清水瀬八幡宮境内図」Ⅱ／近世から近代の八幡宮案内図と案内記（東昇）／史料 八幡山名所記 目次・索引、本文／八幡宮案内図分割図／嶋村家神札・護符等の版木と青山祭壇図（竹中友里代）

第Ⅴ部 文書の情報化 明治前期「村誌」の情報化（東昇）／史料 郡村誌編輯例言・京都府地誌（綴喜郡村誌・綴喜郡誌）／村誌統計表、八幡地域統計地図

◆西宮歴史調査団年報 2008年度版

西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・刊（〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298）2010年3月 A4 38頁

西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成20年度における活動記録である。寺院の調査／橋梁の調査／街道の調査／地蔵の調査

◆よみがえる江戸時代の西宮

西宮市立郷土資料館編・刊（〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298）2009年7月 B5 14頁

西宮市立郷土資料館の第25回特別展示の展示図録案内である。第3回特別展「道・旅・宿場」（昭和63年）、第12回特別展「江戸時代の西宮と海 鰯を追う、酒を運ぶ。」（平成9年）

につづき、西宮勤番所関連の資料、西宮町人の家に伝わった史料を中心に紹介し、西宮町の新たな一面に光りを当てる。西宮町に関する資料／考古学的発掘調査からみた近世以前の西宮町／近世の西宮町／古地図からみる西宮町／尼崎藩領から幕府領へ／町役人の家
◆**収蔵資料目録6** 西宮市所蔵文書（一）
西宮市立郷土資料館編・刊（〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298）
2010年3月 B5 121頁
『西宮市史』編集事業に伴い収集・調査された文書群を中心として、西宮市立郷土資料館に保管されている西宮市所蔵文書のうち、西宮市役所および西宮市立図書館に所蔵・架蔵されていた文書1674点の目録である。

◆**対馬の朝鮮貿易と被差別民**

N P O 法人長崎人権研究所編・刊（〒850-0048 長崎市上銭座町2-7 TEL095-847-8690）
2010年3月 B5 123頁
長崎人権研究所「史料解説会」によって行われている対馬藩宗家史料の解説事業から、「朝鮮交易覚書」と関連研究を収録する。近世末期における対馬藩の皮革貿易について（橋口

和孝）／史料翻刻 朝鮮交易覚書（〔嘉永四年〕、癸丑〔嘉永六年〕、嘉永七甲寅年、安政二乙卯年、安政三丙辰年）／宗家史料にみる対馬の被差別部落（山下信哉）

◆**生きる**

橋口リツ子（歌裕）著（〒890-0045 鹿児島市武3-28-5 TEL099-252-6707）2009年12月 A5 197頁
薩摩堅琴宗家・MBC学園本校箏曲講師である著者が、これまで発表した文章を中心に自身の一生を振り返る。出版に寄せて（赤崎義則・山崎眸・竹下幸良・田村省三）／戦争に生きた頃／悲喜こもごもの人生／私の大切な家族／補稿 「この人に会いたくて」橋口真人インタビュー、「私の五十余年」中間スミ

◆**前号098 p.54『日光 描かれたご威光』**
記事を追加訂正します

現在品切れ。以下でご覧になれます。

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/exhibition/nikkoshasan/zuroku.html>

◆**後記**

挑戦する心を持続することで国民に勇気と夢を与えてくれた宇宙探索機「はやぶさ」。帰還前、事業仕分けによって研究費の削減が決まっていたが、この快挙と世間の盛り上がりによってどうやら復活したらしい。「北海道の文化」82の巻頭文「文化財の費用対効果」で、北海道文化財保護協会のト部信臣氏は、「静かに考えてみると『費用対効果』は、『次年度予算会議』でどこの会社・団体・機関でもなされていること」であるのはもとより、バーゲン品を買うかどうかといった個人の行動においても、その作用が働いている当たり前のことであるとした上で、石狩川中流域右岸における文化財保護功労者の地道な活動の成果が、長い時間をかけて浸透し、今日に継承されてきていることを通じて「費用対効果」とは何かと考える。文化財保護活動が費用対効果なしと即断されて各地で予算が縮小され、北海道も例外ではない。「しかし、会員の心に北の文化財の明かりを届けるこの事業の継続は、人体で血液が各細胞に酸素を供給するような役割を果たして」おり、雑誌「北海道文化」も一層充実させ、発展させたいとし、「そのことがこの北の大地に生きる人々の心を豊かにすることになるからである。」と結んでいる。決して声高な主張ではないだけに、より心打たれるものがある。（飯澤）

地方史情報 099 2010年(平成22年)9月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山4-25-6-103 TEL03-3326-3757